

平成 27 年度港区立男女平等参画センター リーブラ助成事業

『在宅ワークに関する意識・実態調査』

結果報告書

2016 年 3 月

特定非営利活動法人フラウネッツ

調査概要

◇調査目的

在宅ワーカーの就業スタイルおよび参入・継続の障壁、情報・支援ニーズを在宅ワークのキャリア別に明らかにすることを目的とする。本調査結果により新規参入希望者・現役在宅ワーカーが今後の在宅ワーク活動を継続するための一助となり、また、情報・支援提供者にとってターゲットイメージおよび情報・支援活動のあり方のヒントとなる情報提供を行う。

※ 本調査における在宅ワークの定義：情報通信機器を活用して請負契約に基づきサービスの提供等を行う在宅形式での就労

◇調査方法

WEB アンケート調査

特定非営利法人フラウネットが配信する在宅ワーカー向けメールマガジン「フラウネットカフェ」登録者約 5,000 名、在宅・SOHO ワーカー向け仕事情報サイト「Fit」登録者約 350 名、および本助成事業の一環として 2015 年 7 月に開催したセミナー「在宅ワークの基礎を覚える」参加者 29 名にアンケート協力を呼びかけ、指定の URL にアクセスすることによるアンケート記入を依頼した。※協力者募集にあたり、居住地、電話番号等により本人所在確認ができない者は除外した

<有効回答数>

- 未経験者（在宅ワークを始めたいが未経験） 10 名
 - 初心者（在宅ワーク歴 3 年未満；平均 1.4 年） 37 名
 - 経験者（在宅ワーク歴 3 年以上；平均 9.1 年） 85 名
- 計 132 名

※在宅ワーク歴は、初めての受注成立時より起算

◇調査期間

2015 年 12 月 2 日～12 月 16 日

◇調査内容

- ワークスタイル
職種、就業時間、年収等：現在および今後の希望
- 在宅ワークに対する意識、情報支援ニーズ
在宅ワーク参入のきっかけ、在宅ワークのメリット/デメリット、情報・支援ニーズ等
- ※ 「ワークスタイル」の一部の項目は「未経験者+初心者」（計 47 名）を初心者と定義づけ、初心者と経験者の回答を比較分析
- ※ 「在宅ワークに対する意識、情報支援ニーズ」は、全項目を「未経験者+初心者」（計 47 名）を初心者と定義づけ、初心者と経験者の回答を比較分析

回答者プロフィール

◇居住地域

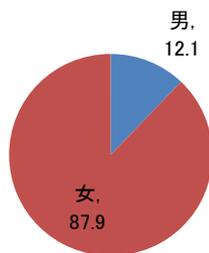
	全体 (n=132)		初心者 (n=47)		経験者 (n=85)	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%
北海道	3	2.3%	1	2.1%	2	2.4%
秋田県	1	0.8%	1	2.1%	0	0.0%
茨城県	2	1.5%	1	2.1%	1	1.2%
埼玉県	24	18.2%	12	25.5%	12	14.1%
千葉県	8	6.1%	2	4.3%	6	7.1%
東京都	47	35.6%	12	25.5%	35	41.2%
神奈川県	11	8.3%	4	8.5%	7	8.2%
山梨県	1	0.8%	0	0.0%	1	1.2%
長野県	1	0.8%	0	0.0%	1	1.2%
愛知県	5	3.8%	1	2.1%	4	4.7%
三重県	1	0.8%	0	0.0%	1	1.2%
奈良県	11	8.3%	8	17.0%	3	3.5%
京都府	2	1.5%	0	0.0%	2	2.4%
大阪府	2	1.5%	0	0.0%	2	2.4%
兵庫県	2	1.5%	1	2.1%	1	1.2%
岡山県	3	2.3%	1	2.1%	2	2.4%
広島県	1	0.8%	0	0.0%	1	1.2%
島根県	1	0.8%	0	0.0%	1	1.2%
福岡県	2	1.5%	0	0.0%	2	2.4%
熊本県	1	0.8%	1	2.1%	0	0.0%
鹿児島県	1	0.8%	0	0.0%	1	1.2%
沖縄県	1	0.8%	1	2.1%	0	0.0%
USA	1	0.8%	1	2.1%	0	0.0%

回答者プロフィール

◇性別

Q. 性別 <全体(n=132)>

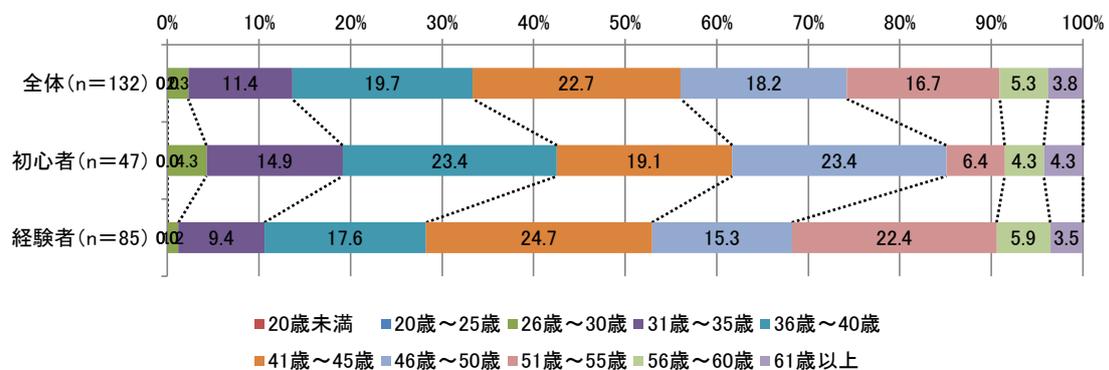
%



	初心者(n=47)		経験者(n=85)	
	回答数	%	回答数	%
男	4	8.5	12	14.1
女	43	91.5	73	85.9

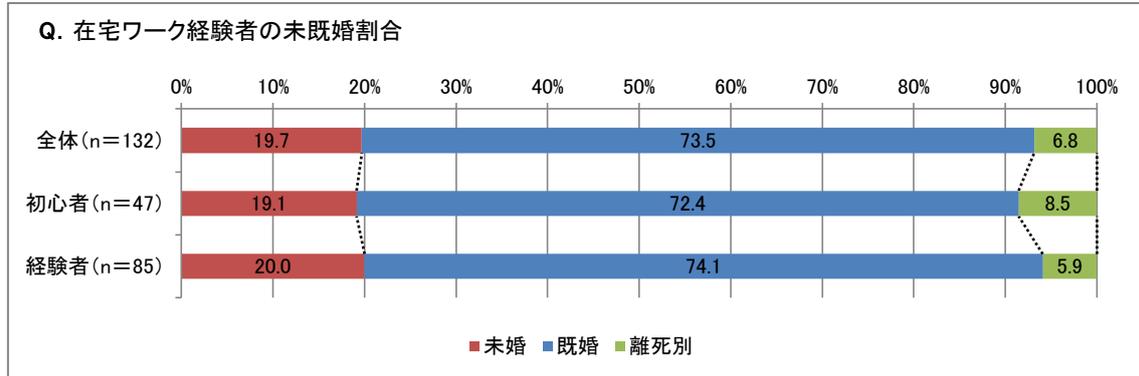
◇年齢

Q. 年齢

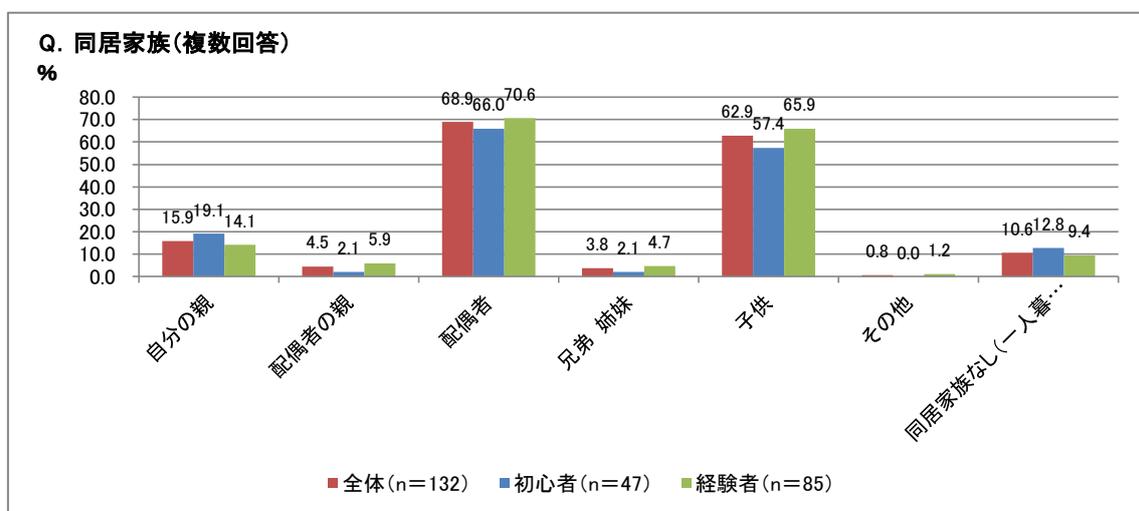


回答者プロフィール

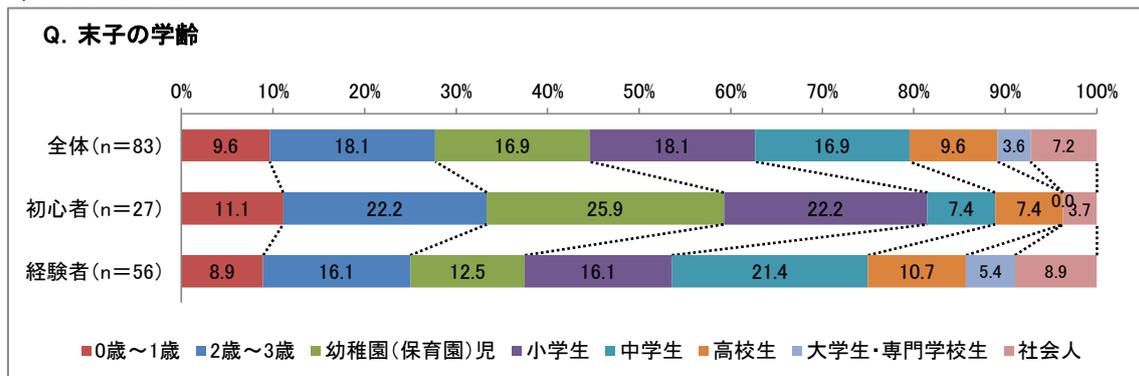
◇未既婚等



◇同居家族



◇末子の学齢

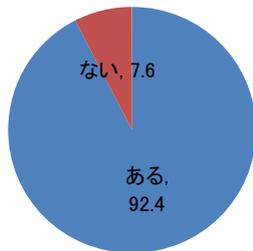


回答者プロフィール

◇在宅ワーク経験の有無

Q. 在宅ワーク経験の有無
 <全体 (n=132)>

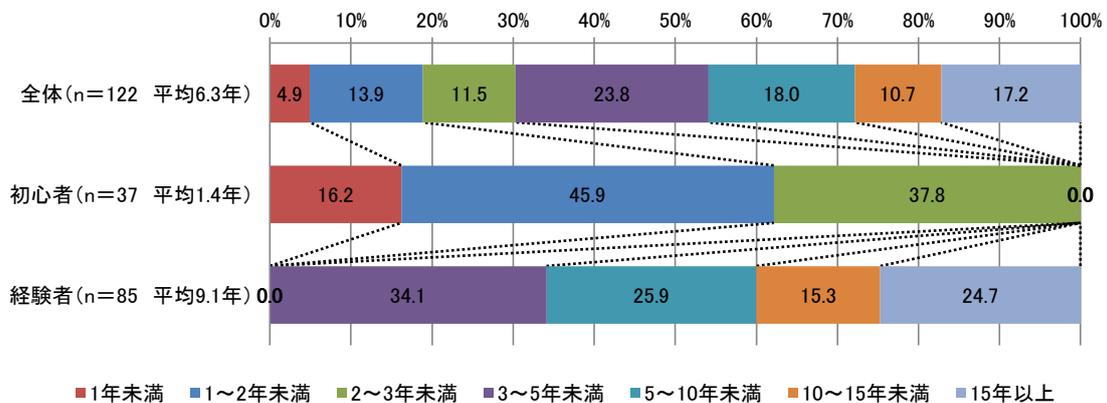
%



	初心者 (n=47)		経験者 (n=85)	
	回答数	%	回答数	%
ある	37	8.5	85	100.0
ない	10	91.5	0	0.0

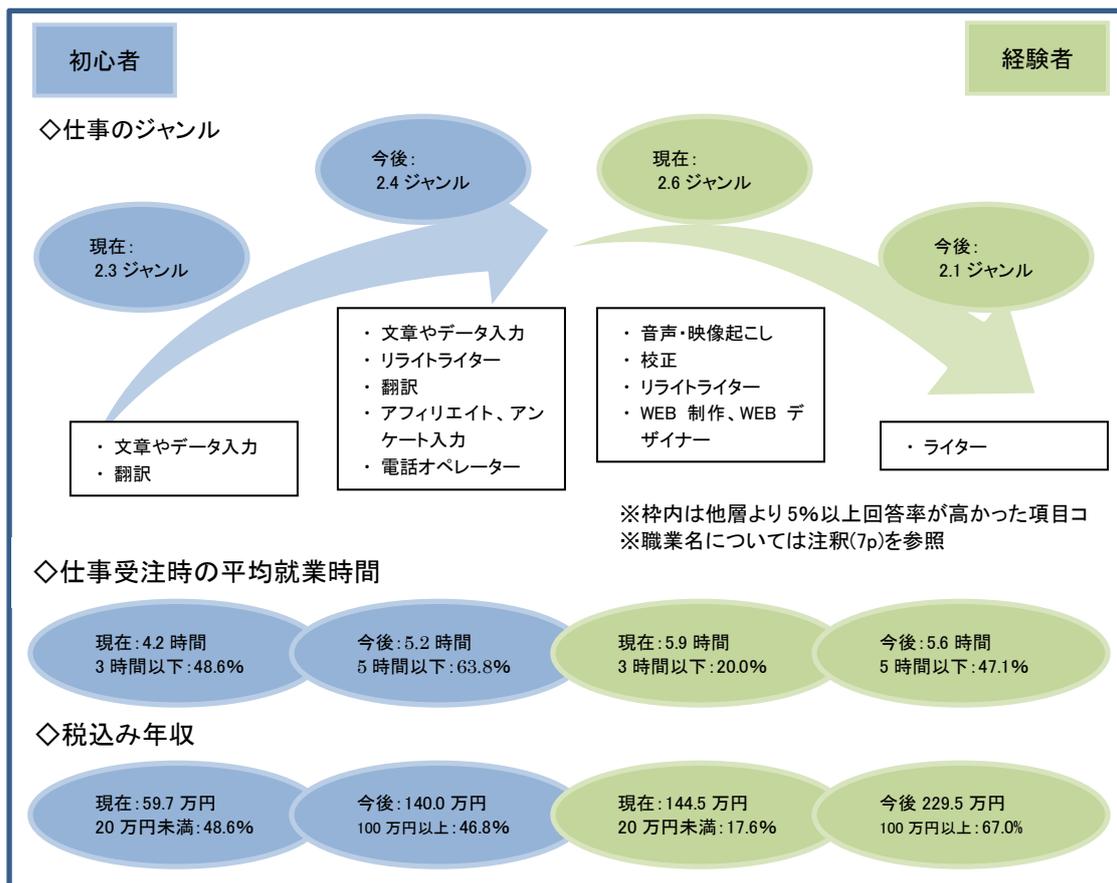
◇在宅ワーク歴

Q. 在宅ワーク歴



結果のポイントと考察①ワークスタイル

- ◇ **前職**：「事務」が最多数。初心者は「研究開発」、経験者は「制作」がそれに続く
- ◇ **仕事のジャンル<現在と今後の意向>**：初心者は現在「ライター」「文章やデータ入力」に集中しているが、今後の意向では「ライター」「文章やデータ入力」「リライトライター」をはじめとして多岐にわたる。経験者は、現在「ライター」をはじめとしてさまざまなジャンルを請けているが、今後の意向は「ライター」に集中している。
 - **さまざまなジャンルを経験し、将来的に絞り込んでいくことが想定される**
- ◇ **仕事受注時の1日あたり就業時間<現在と今後の意向>**：現在は、初心者は3時間以下が半数、経験者はばらつきがある。今後の意向は、1日5、6時間が最も多い時間帯。初心者は5時間以下が6割強、経験者は6時間以上が半数を占める。
 - **現状、今後の意向とも、経験者では1日3時間以下の短時間就労は2割以下にとどまる**
- ◇ **年収<現在と今後の意向>**：現在は、初心者の半数近くは20万円未満、経験者はばらつきがある。今後の意向としては、初心者の半数以上は100万円未満、経験者では100万円未満は3割強にとどまり、300万円以上も3割を超える
 - **今後の意向として、経験者は配偶者の扶養範囲を超え、フルタイムと同様あるいはそれ以上の年収を希望する人が多い**



※注釈

文章やデータ入力 : 指定された文章や数値などのデータを入力する

校正 : 原稿と比べ文字や図版などの記載に誤りがないか確認し不備を正す

リライトライター : 既存の文章を変更する業務

ライター : 取材や資料から要求される文章を作成する

音声・映像起こし : 録音、録画されたデータを元に仕様にそって文字に起こす

音楽・映像制作 : 音楽や映像を制作する

翻訳 : 原文に即して他言語に訳す

WEB制作、WEBデザイナー : インターネット上にアップするサイトの制作、デザイン

アフィリエイト : インターネット登録サイトを通じて閲覧や販売による広告収入を得る

アンケート入力 : インターネット登録サイトを通じてアンケートに回答する

DTPオペレーター : 印刷物についての版下制作。DTPとはDesktop publishing、デスクトップパブリッシングの略。

CADオペレーター : 専用のソフトを用いて設計する

プログラマー : システムのプログラムを設計する

インストラクター : 専門知識を持ち受講者に指導を行う

コンサルティング : 顧客の課題を解決するために専門知識を持ち動く

電話オペレーター : 仕様に基つき受電により案内を行う

結果のポイントと考察②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

- ◇ **在宅ワークを始めたきっかけ**：「空いた時間を利用して自宅でできる仕事を探したい」が最も多い。経験者では「希望する仕事がある」こともきっかけとなっている

- ◇ **在宅ワークのメリット、デメリット**：「好きな時間に働ける」ことが最大のメリット。経験者は「通勤ラッシュ」や「上司、同僚との関係がない」ことにもメリットを強く感じている。デメリットは「安定した収入を得ることが難しい」がトップ。初心者では「社会保障」、経験者では「プライベートに仕事を持ち込んでしまう」ことにもデメリットを感じる

- ◇ **悩み・不安**：デメリット同様「期待する年収が得られない」という収入面が最大の悩み。初心者の悩みや不安は多岐にわたり、経験者は「仕事とプライベートの両立が難しい」と感じている

- ◇ **仕事を得るために努力していること**：「仲介機関やクラウドソーシングなどに登録している」がトップ。経験者はそれ以外にも「勤めていた会社や知人に声をかけている」「ブログやホームページを立ち上げ更新している」などさまざまな努力をしている
 - **経験者は、自分から外部へ向けてアプローチ、情報発信している**

- ◇ **仕事を得るために必要な知識・技術**：「自分の受注分野に関する最新の知識・技術」「インターネットやパソコンの知識」が上位。初心者では「経理に関する知識」「資格取得や検定試験」も必要だと感じている
 - **初心者には「契約」をはじめとして個人事業主としての基本的知識のニーズがある**

- ◇ **知識・技術の入手方法<現在と今後の意向>**：現在、今後の意向とも「インターネットや書籍」がトップ。今後の意向では、初心者は「セミナー」「通信講座」など多岐にわたり、経験者は「同業者の交流会や勉強会」の活用意向が高い
 - **初心者はセミナー、通信講座など受動的ニーズ、経験者は人的ネットワークやコミュニケーション重視**

結果のポイントと考察②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

初心者	経験者
<p>◇努力していること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲介機関やクラウドソーシングなどに登録 ・ インターネットの仕事紹介サイトをチェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤めていた会社や知人に声をかけている ・ ブログやホームページを立ち上げ、更新 ・ 異業種交流会などに参加
<p>◇必要な知識・技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Excel や Word などの実技 ・ 契約に関する知識 ・ 資格取得や検定試験の合格実績 ・ 社会保障制度に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の受注分野に関する最新の知識・技術
<p>◇知識・技術の入手方法〈現在と今後〉</p> <p>現在:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国や自治体が開催しているセミナー ・ 通信講座 <p>今後:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国や自治体が開催しているセミナー ・ NPO 法人が開催しているセミナー ・ 民間事業者が開催しているセミナー ・ 通信講座 ・ 国や自治体の相談窓口 	<p>現在:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットや書籍 ・ 友人・知人 ・ 同業者の交流会や勉強会 <p>今後:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットや書籍 ・ 同業者の交流会や勉強会

※他層より 5%以上回答率が高かった項目

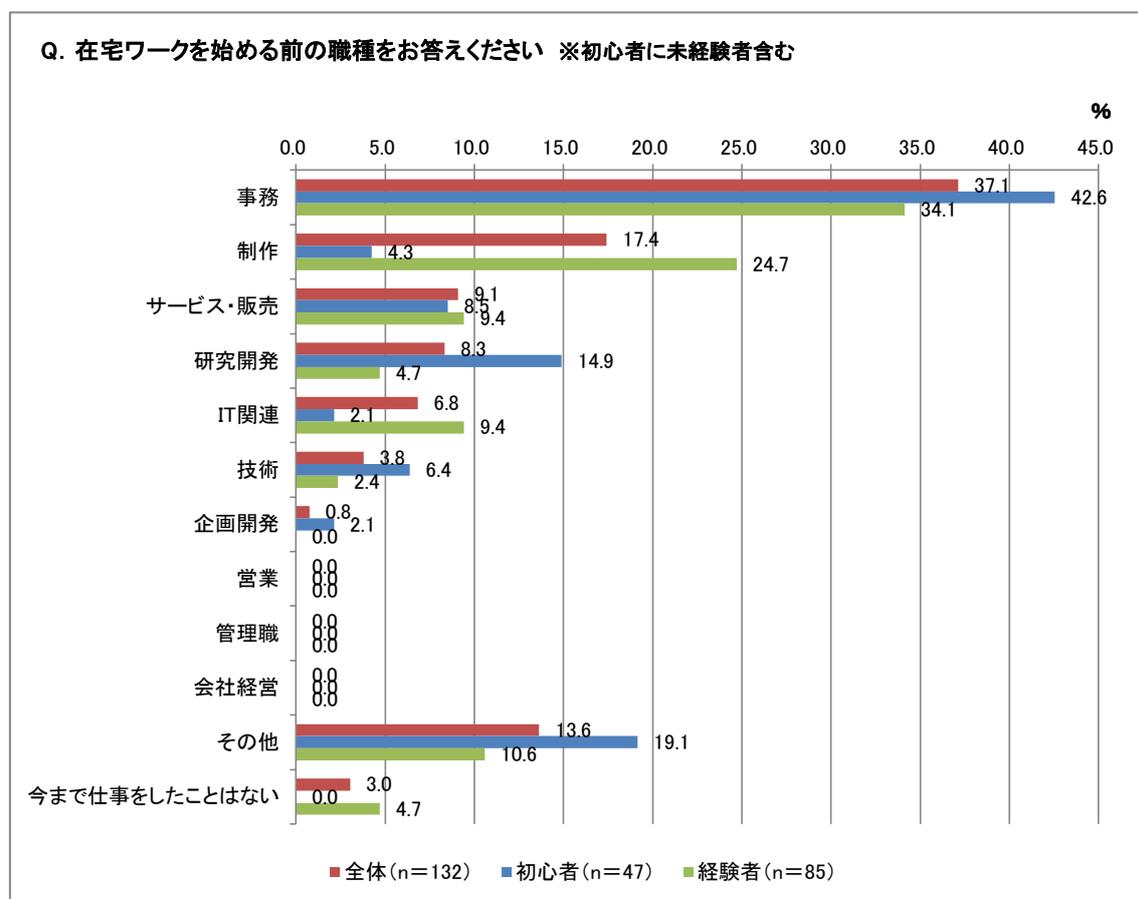
結果の詳細①ワークスタイル

◇在宅ワークを始める前の職種

初心者、経験者とも「事務」がトップ。初心者は「研究開発」、経験者は「制作」がそれに続く

在宅ワークを始める前の職種は、全体では「事務」(37.1%)、「制作」(17.4%)が上位でした。また、「営業」という回答はありませんでした。

層別には、いずれの層でも「事務」が最も多い回答でした。初心者では「事務」(42.6%)に次いで「研究開発」(14.9%)、経験者では「事務」(34.1%)に次いで「制作」(24.7%)が前職として回答されました。



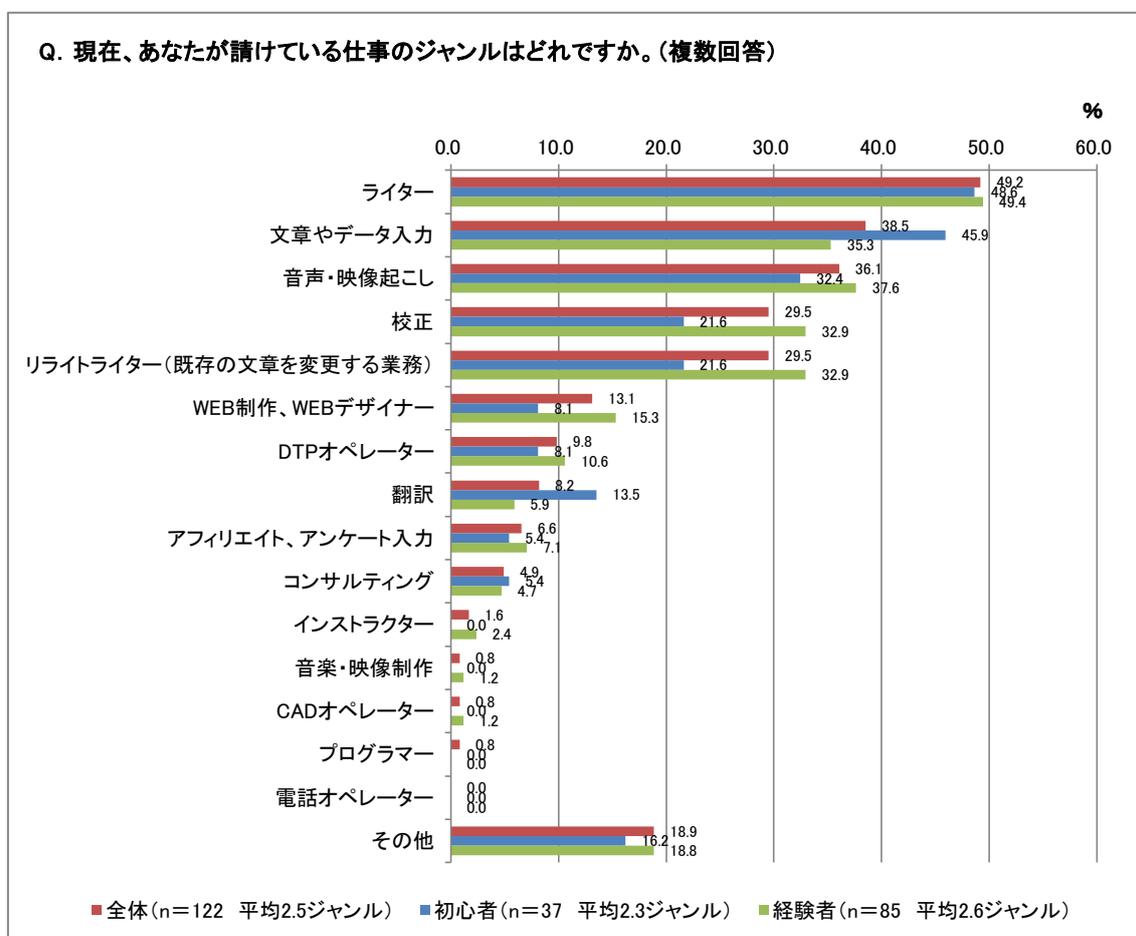
結果の詳細①ワークスタイル

◇現在、請けている仕事のジャンル

初心者、経験者とも「ライター」がトップ。初心者は「文章やデータ入力」、経験者はさまざまなジャンルがそれに続く

現在請けているジャンルを、全体でみると1人平均2.5ジャンルの回答がありました。最も多く挙げられたジャンルは「ライター」(49.2%)です。次いで「文章やデータ入力」(38.5%)、「音声・映像起こし」(36.1%)が上位でした。

層別には、初心者は全体と同様の傾向がみられますが、「ライター」(48.6%)に次いで「文章やデータ入力」と回答した人が45.9%に上っています。これに対し経験者は、「ライター」(49.4%)に次いで「音声・映像起こし」(37.6%)、「文章やデータ入力」(35.3%)、「校正」(32.9%)、「リライトライター」(32.9%)と多岐にわたるジャンルが挙げられています。



※職業名については注釈(7p)を参照

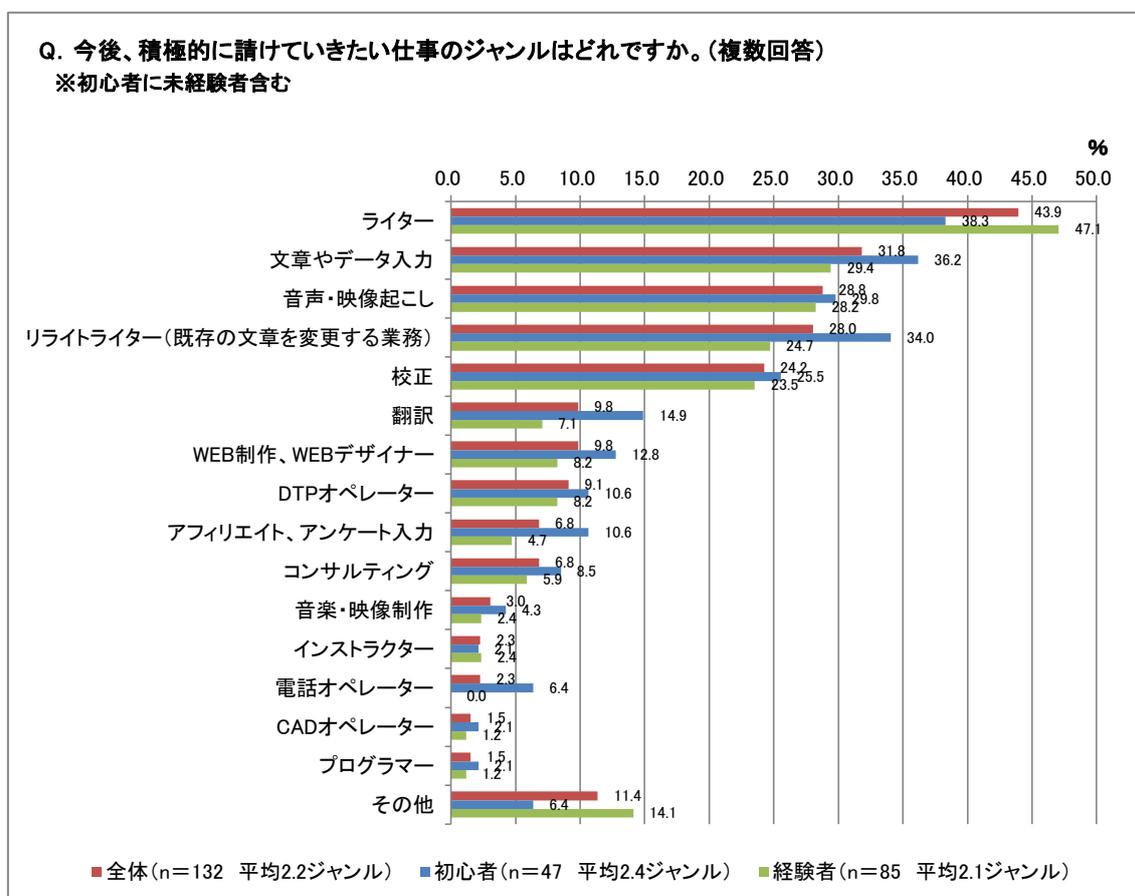
結果の詳細①ワークスタイル

◇今後、積極的に請けていきたい仕事のジャンル

経験者は2人中1が「ライター」。初心者は「ライター」「文章やデータ入力」「リライトライター」など多岐にわたる

今後積極的に請けていきたいジャンルについては、全体でみると1人平均2.2ジャンルの回答がありました。最も多く挙げられたジャンルは、現在請けているジャンルと同様「ライター」(43.9%)です。次いで「文章やデータ入力」(31.8%)、「音声・映像起こし」(28.8%)が上位でした。

層別には、経験者は全体と同様の傾向がみられ、「ライター」と回答した人は47.1%に上ります。これに対し初心者は「ライター」(38.9%)に次いで「文章やデータ入力」(36.2%)、「リライトライター」(34.0%)が挙げられ、ジャンルが多岐にわたっています。



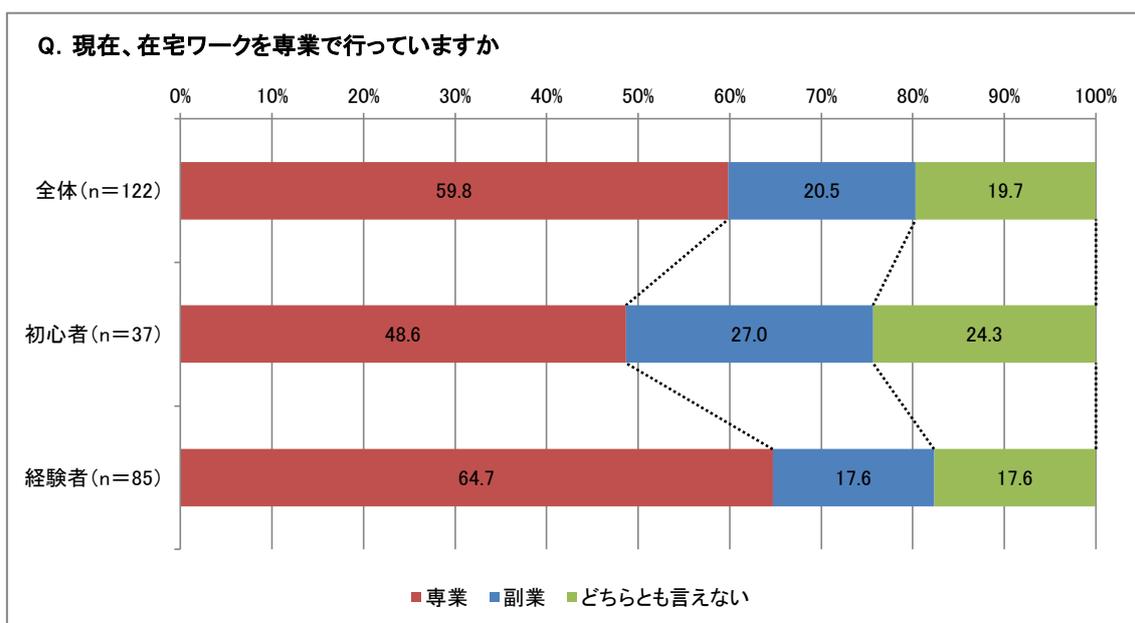
※職業名については注釈(7p)を参照

結果の詳細①ワークスタイル

◇ 専業/副業

初心者は「副業」「どちらとも言えない」が高比率

在宅ワークを専業で行っているかという質問に対して、全体では「専業」と回答した人が6割近くです。層別の「専業」比率をみると、経験者が64.7%に対し初心者は48.6%にとどまっています。



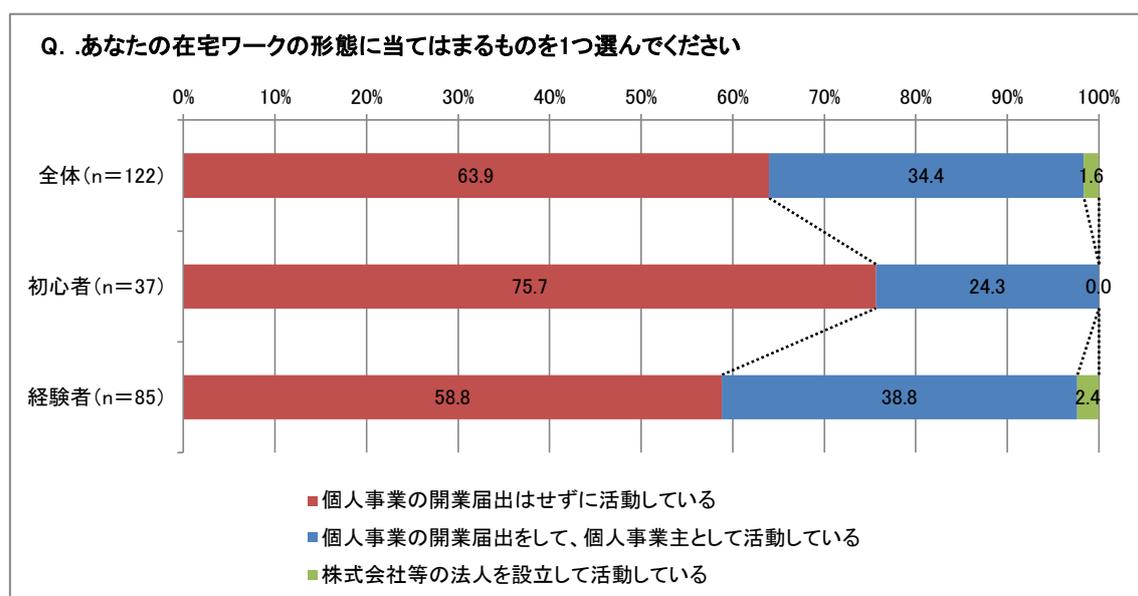
【未経験者回答】 今後の意向	n=10	
	回答数	%
専業	1	10.0
副業	3	30.0
どちらとも言えない	6	60.0

結果の詳細①ワークスタイル

◇在宅ワークの形態

初心者は「個人事業の開業届出はせずに活動している」が高比率

在宅ワークの形態については、全体で見ると6割以上の人たちは「個人事業の開業届出はせずに」活動しています。層別には特に初心者にとこの傾向が強く、75.7%の人たちが「個人事業の開業届出はせずに」活動しています。



【未経験者回答】 今後の意向	n=10	
	回答数	%
個人事業の開業届出はせずに活動したい	5	50.0
個人事業の開業届出をして、個人事業主として活動したい	5	50.0
株式会社等の法人を設立して活動したい	0	0.0

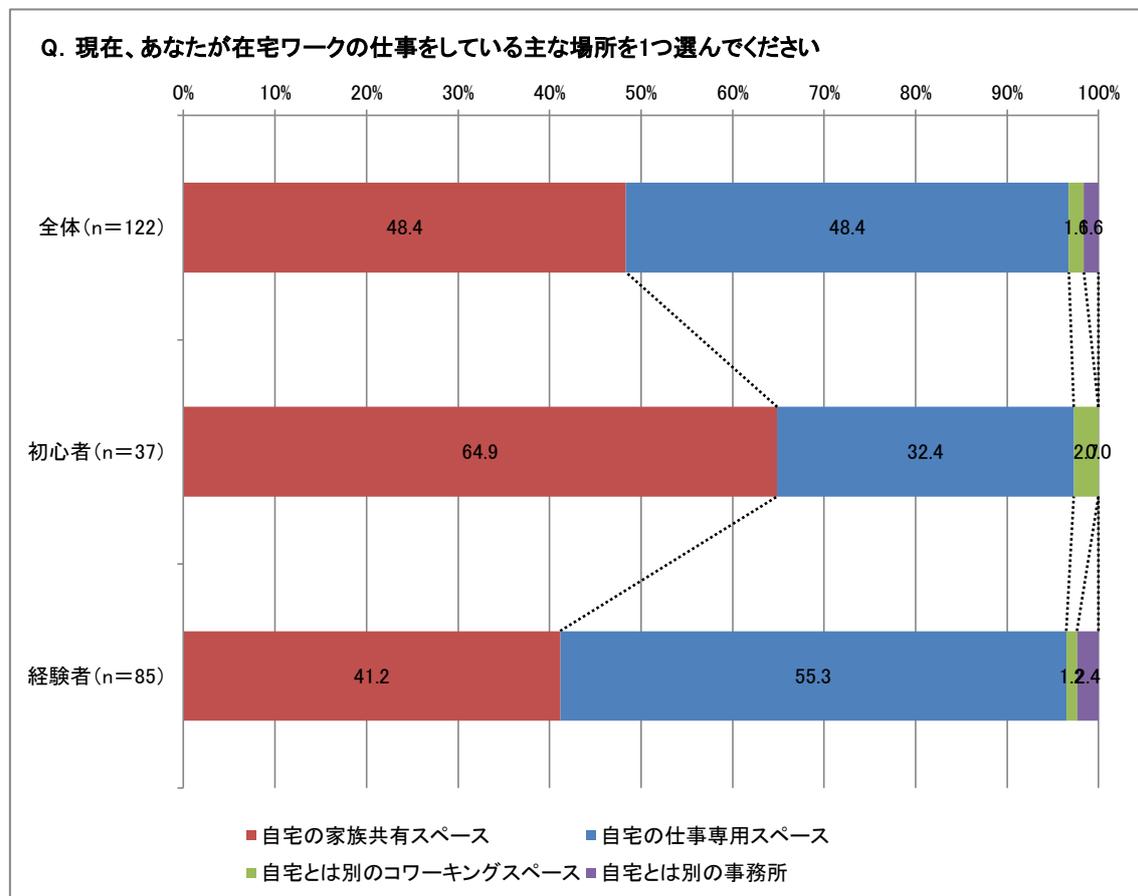
結果の詳細①ワークスタイル

◇現在の仕事場

初心者は「自宅の家族共有スペース」、経験者は「自宅の仕事専用スペース」で仕事をしている

現在、主に仕事をしている場所は、全体では「自宅の家族共有スペース」（48.4%）と「自宅の仕事専用スペース」（48.4%）に大きく分かれ、自宅を仕事場としている人たちがほとんどです。

層別にみると、初心者は「自宅の家族共有スペース」（64.9%）、経験者は「自宅の仕事専用スペース」（55.3%）で仕事をしている人が多くみられます。



※「coworking スペース」とは、個人事業主、企業がスペースを利用ながら作業を行う場所

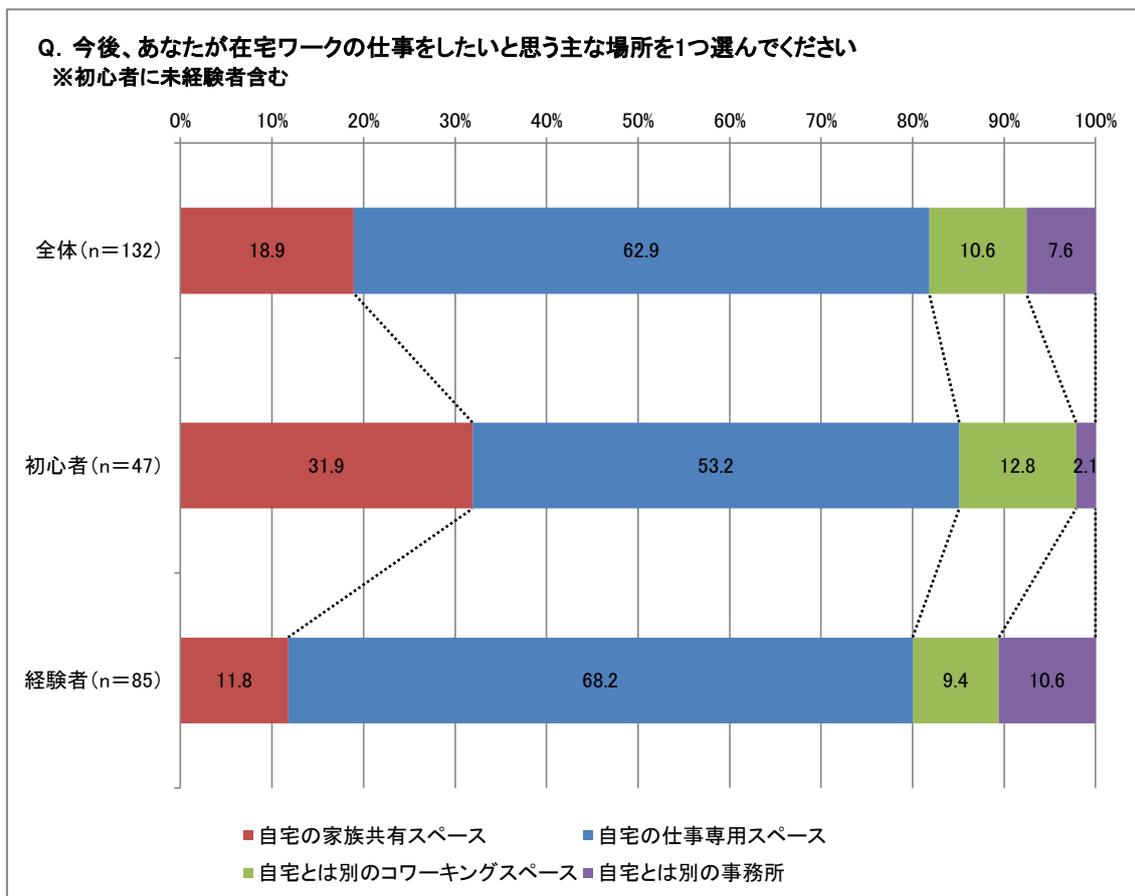
結果の詳細①ワークスタイル

◇今後、仕事をしたい場所

初心者、経験者とも「自宅の仕事専用スペース」を仕事場にしたい。自宅以外では初心者は「コワーキングスペース」、経験者は「事務所」

今後、主に仕事をしたい場所は、全体では「自宅の仕事専用スペース」が6割を超えています。

層別にみると、経験者にこの意向が強くみられます。また自宅以外では、初心者は「自宅とは別のコワーキングスペース」(12.8%)、経験者は「自宅とは別の事務所」(10.6%)を挙げています。

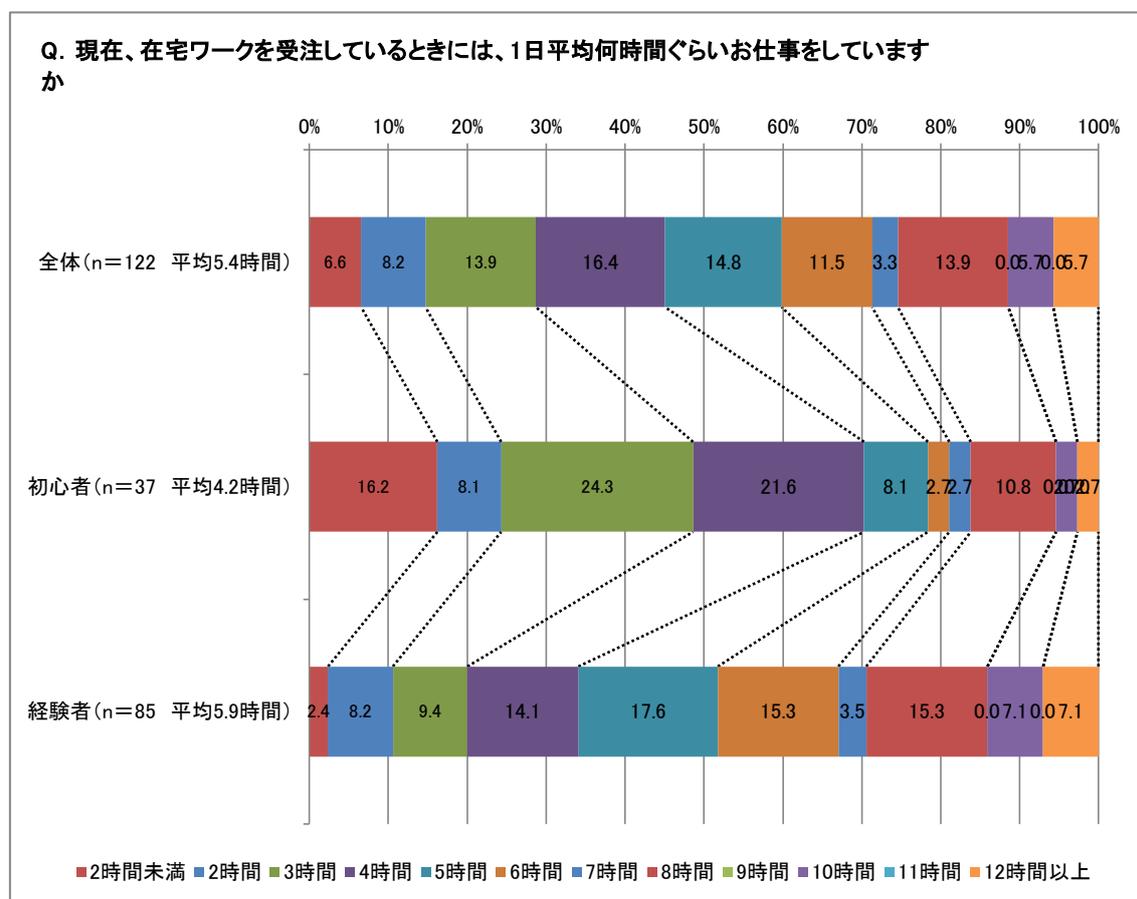


結果の詳細①ワークスタイル

◇現在、仕事受注時の1日当たり平均就業時間

平均では初心者 4.2 時間、経験者 5.9 時間。初心者は 3 時間以下が半数、経験者はばらつきがある。

現在、仕事受注時の1日当たり就業時間は、全体でみると平均 5.4 時間でした。層別にみると、初心者の半数近くは1日3時間以下で、4時間以下が7割を占めます。これに対して経験者の就業時間にはばらつきがみられ、1日4時間以下という回答が約35%ありましたが、8時間以上就業している人たちも3割近くいます。各層の平均就業時間は、初心者が4.2時間、経験者が5.9時間でした。



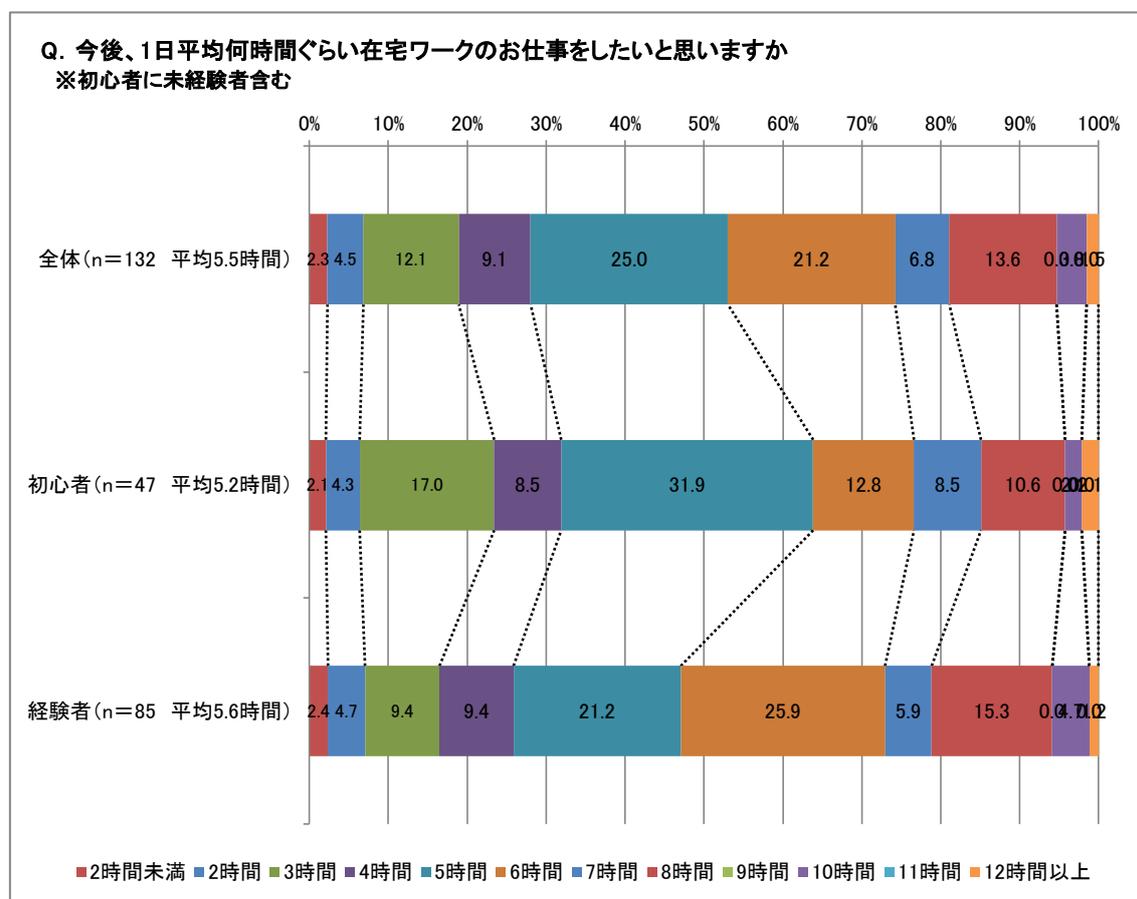
結果の詳細①ワークスタイル

◇今後希望する1日あたり平均就業時間

全体では1日5、6時間が最多時間。初心者は5時間以下が6割強、経験者は6時間以上が半数を占める。

今後希望する1日あたり就業時間は、全体でみると平均5.5時間で、1日5、6時間程度を希望する人が5割近くでした。

層別にみると、初心者は1日5時間以下が6割強を占め、経験者は1日6時間以上が半数を超えています。各層の希望平均就業時間は、初心者が5.2時間、経験者が5.6時間でした。



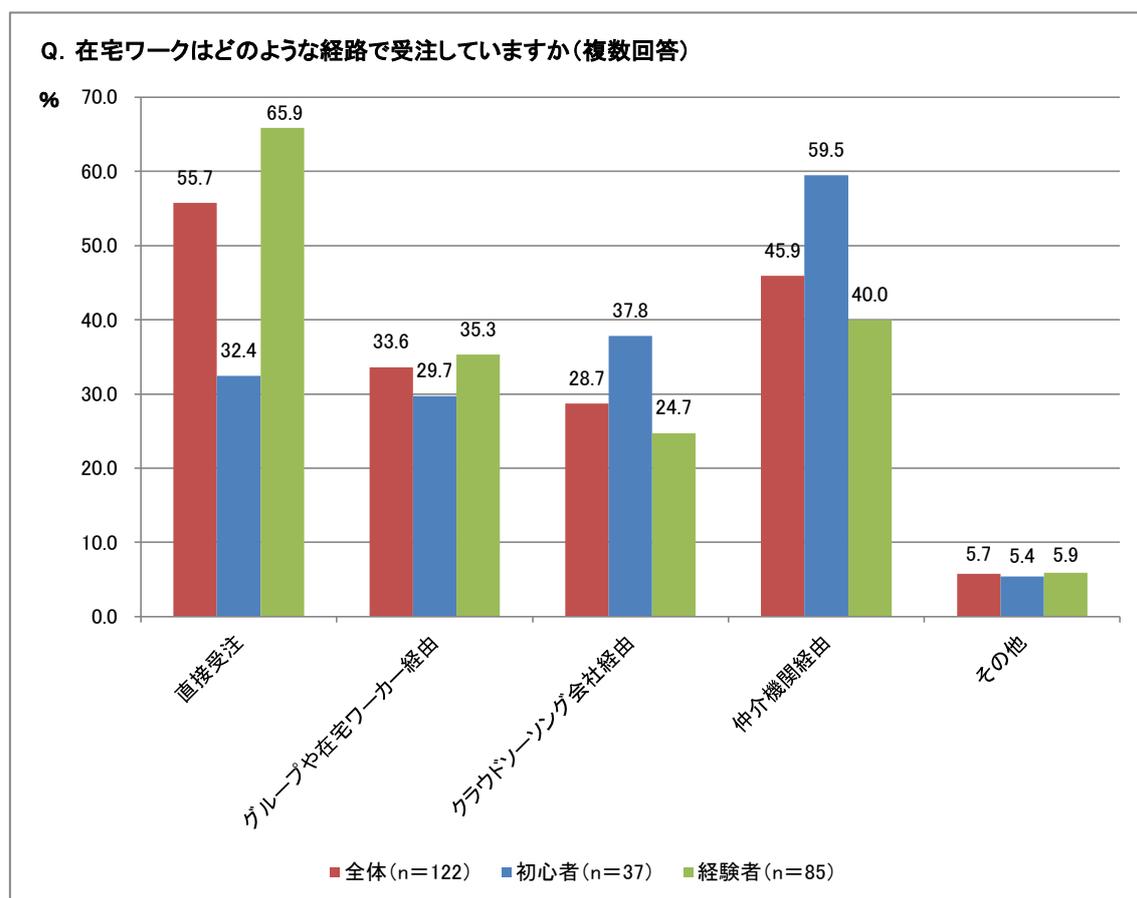
結果の詳細①ワークスタイル

◇現在の在宅ワーク受注経路

初心者は「仲介機関経由」、経験者は「直接受注」が最も多い

現在の受注経路は、全体では「直接受注」(55.7%)、それに次いで「仲介機関経由」(45.9%)が上位に挙げられています。

層別にみると、初心者では「仲介機関経由」(59.5%)、経験者では「直接受注」(65.9%)が最も多く挙げられています。



※仲介機関とは、顧客から請け負った業務について、契約を結んだ在宅ワーカーの特性を考慮し、業務を振り分ける。在宅ワーカーから納品された業務は、仲介機関が検収し顧客に納品される。

※クラウドソーシング会社とは、インターネット上のサイトを通じて、発注したい企業と在宅ワーカーをマッチングさせるサイトを運営する企業。業務の振り分けなどは行わず、発注企業と登録ワーカーの自主的判断に一任することが多い。

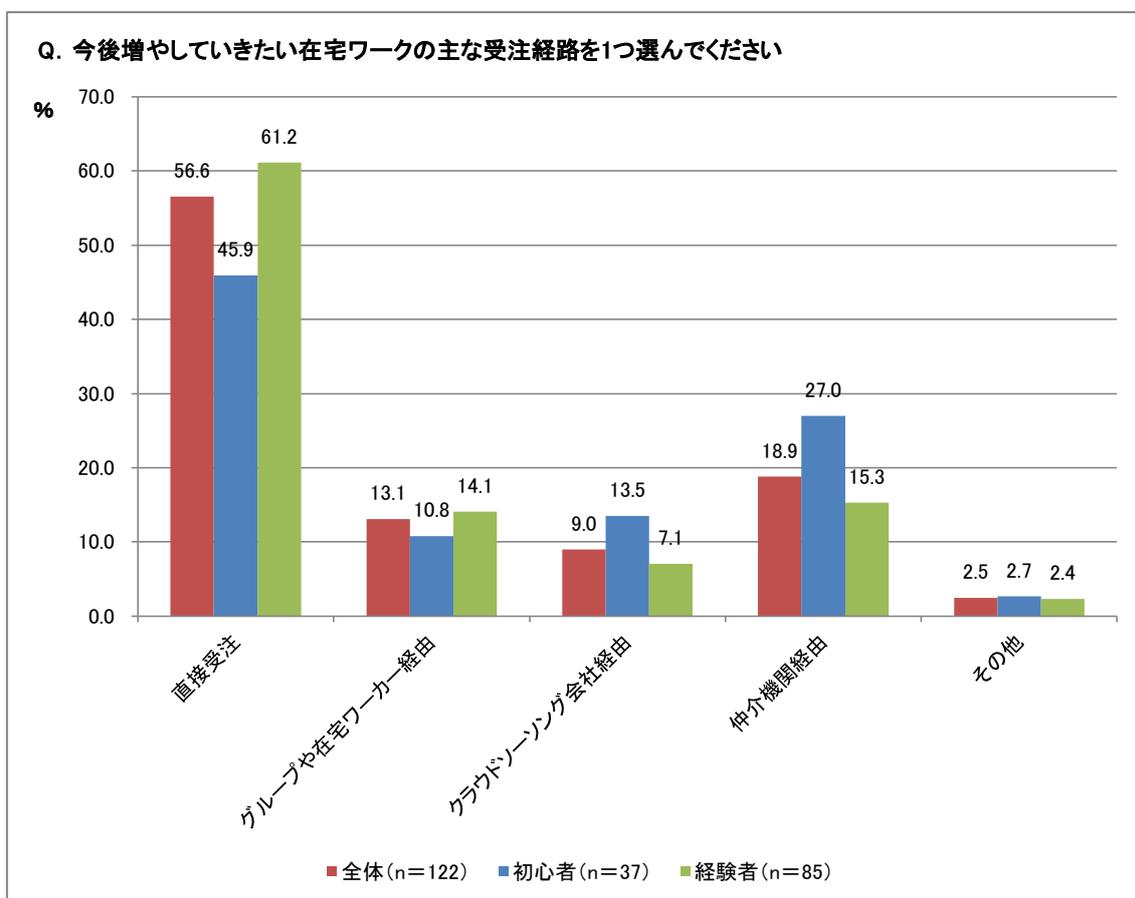
結果の詳細①ワークスタイル

◇今後、増やしていきたい受注経路

初心者、経験者とも「直接受注」がトップ

今後増やしていきたい受注経路は、全体では「直接受注」(56.6%)が圧倒的に多く、6割近くを占めています。

層別には、いずれの層でも「直接受注」が多く挙げられています。初心者と経験者を比較すると、初心者では「仲介機関経由」(27.0%)、経験者では「直接受注」(61.2%)が多く挙げられています。



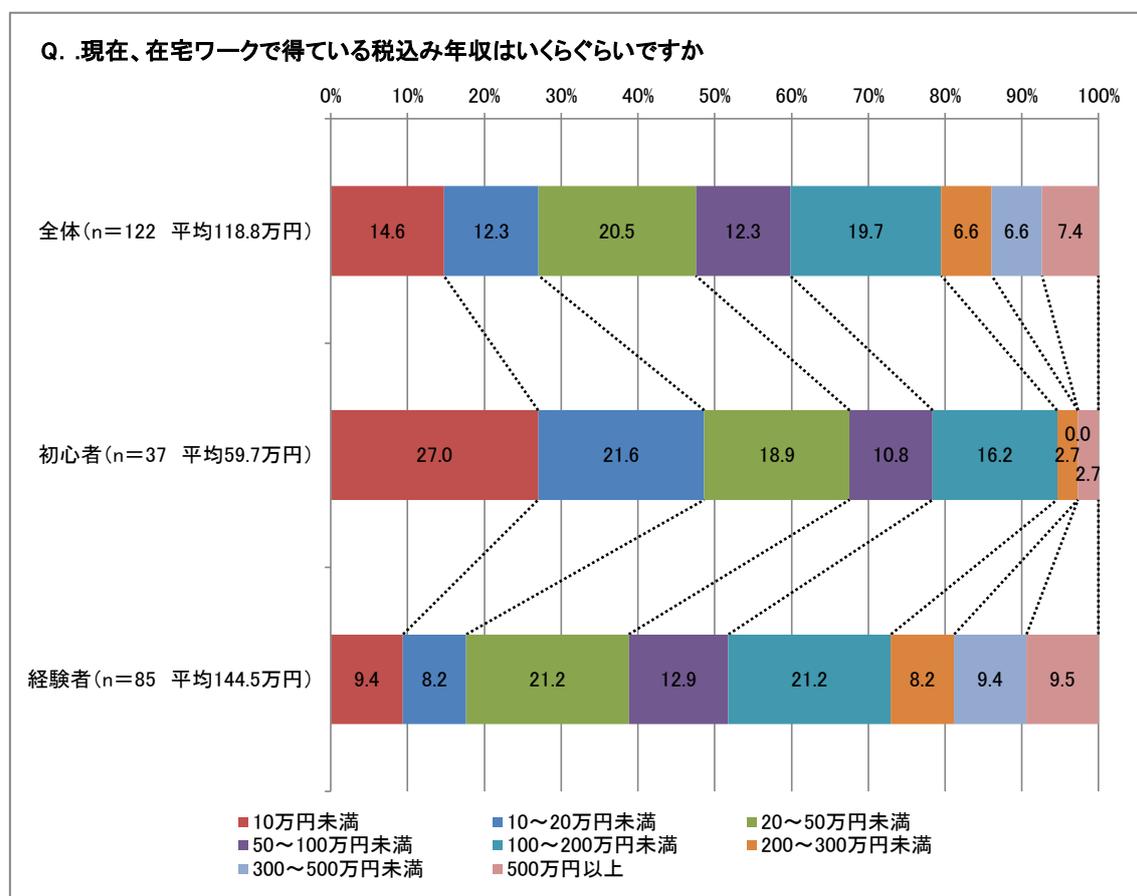
結果の詳細①ワークスタイル

◇現在の税込み年収

初心者の半数近くは20万円未満、経験者はばらつきがある

現在の税込み年収は、全体でみると平均118.8万円で、50万円未満が半数近くを占めています。

層別にみると、初心者の半数近くは20万円未満で、100万円以上の人は2割程度でした。これに対して経験者にはばらつきがみられ、20万円未満の人が2割弱程度いますが、一方で2割程度の人は300万円以上の年収を得ています。各層の平均税込み年収は、初心者が59.7万円、経験者が144.5万円でした。



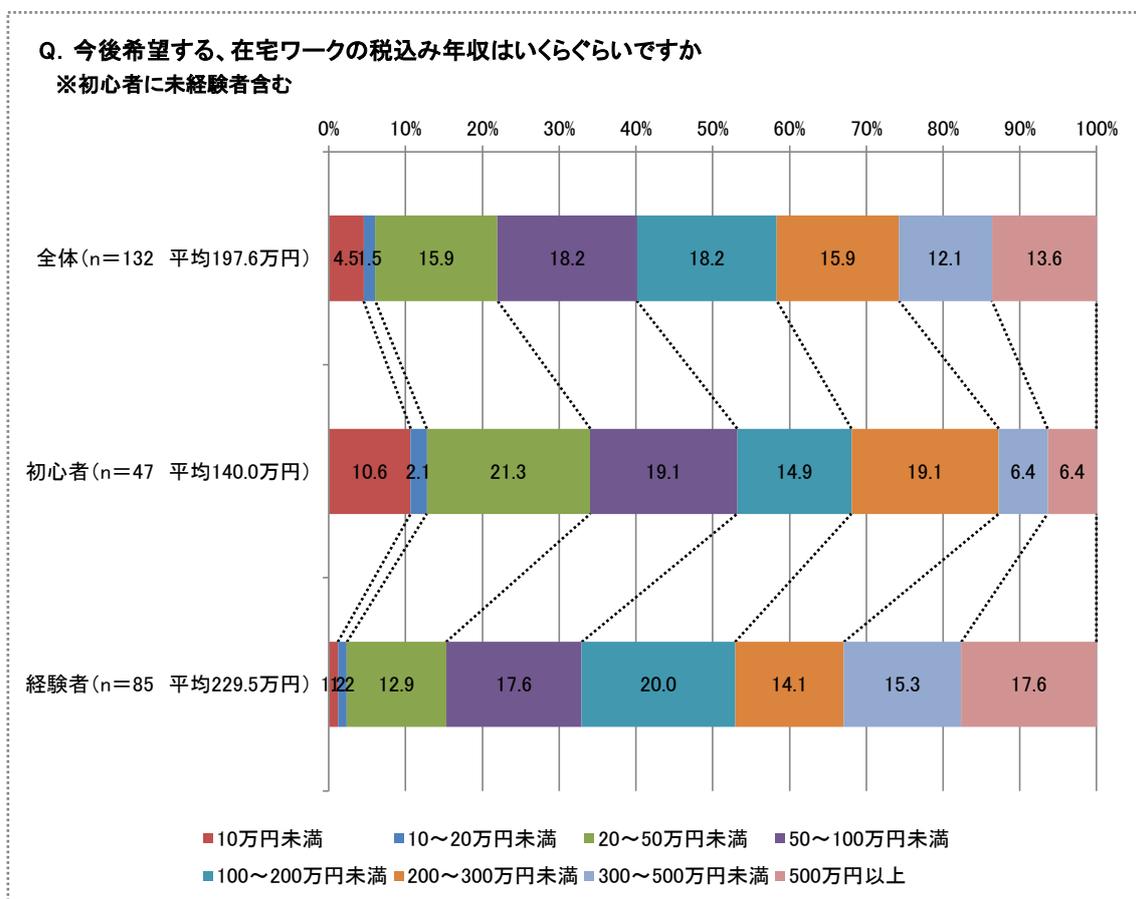
結果の詳細①ワークスタイル

◇今後希望する税込み年収

初心者の半数以上は100万円未満、経験者では300万円以上を希望する人も3割を超える

今後希望する税込み年収は、全体でみると平均197.6万円ですが、人によって金額にばらつきがみられます。

層別には、初心者の半数以上は100万円未満です。経験者では100万円未満は3割強にとどまり、300万円以上を希望する人も3割以上いました。各層の平均税込み年収は、初心者が140.0万円、経験者が229.5万円でした。

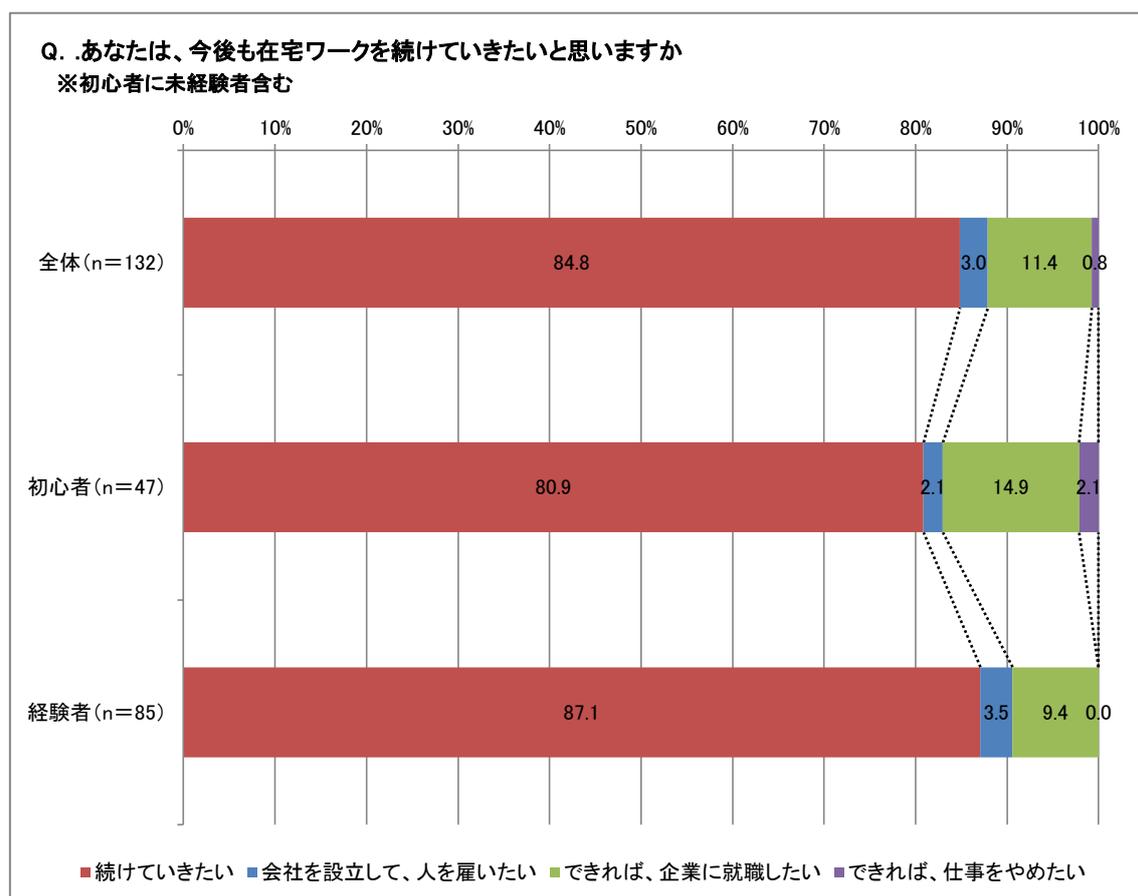


結果の詳細①ワークスタイル

◇在宅ワーク継続意向

初心者、経験者とも在宅ワーク継続意向のある人が圧倒的多数を占める

在宅ワークの継続意向のある人は、全体で見ると84.8%でした。層別にみると、いずれの層でも継続意向のある人が圧倒的多数ですが、初心者では「できれば企業に就職したい」(14.9%)、「できれば仕事をやめたい」(2.1%)という意向の人も見受けられます。



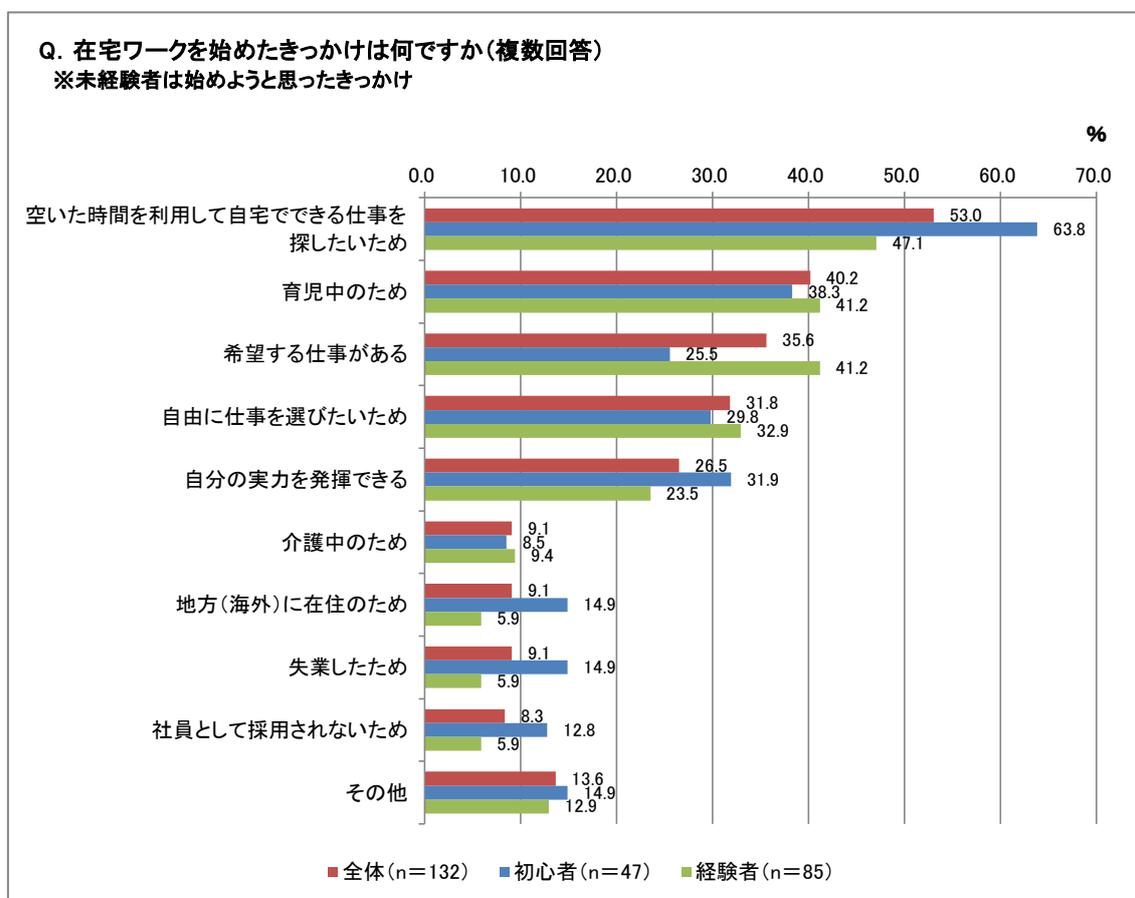
結果の詳細②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

◇在宅ワークを始めたきっかけ

初心者、経験者とも「空いた時間を利用して自宅でできる仕事を探したい」がトップ

在宅ワークを始めたきっかけは、全体でみると「空いた時間を利用して自宅でできる仕事を探したいため」(53.0%)、「育児中のため」(40.2%)「希望する仕事がある」(35.6%)が上位に挙げられています。

層別にみると、いずれの層でも「空いた時間を利用して自宅でできる仕事を探したい」が最も多く挙げられています。特に初心者では63.8%の人たちがきっかけだと回答しています。「希望する仕事がある」は経験者で41.2%だったのに対し、初心者では25%にとどまっています。

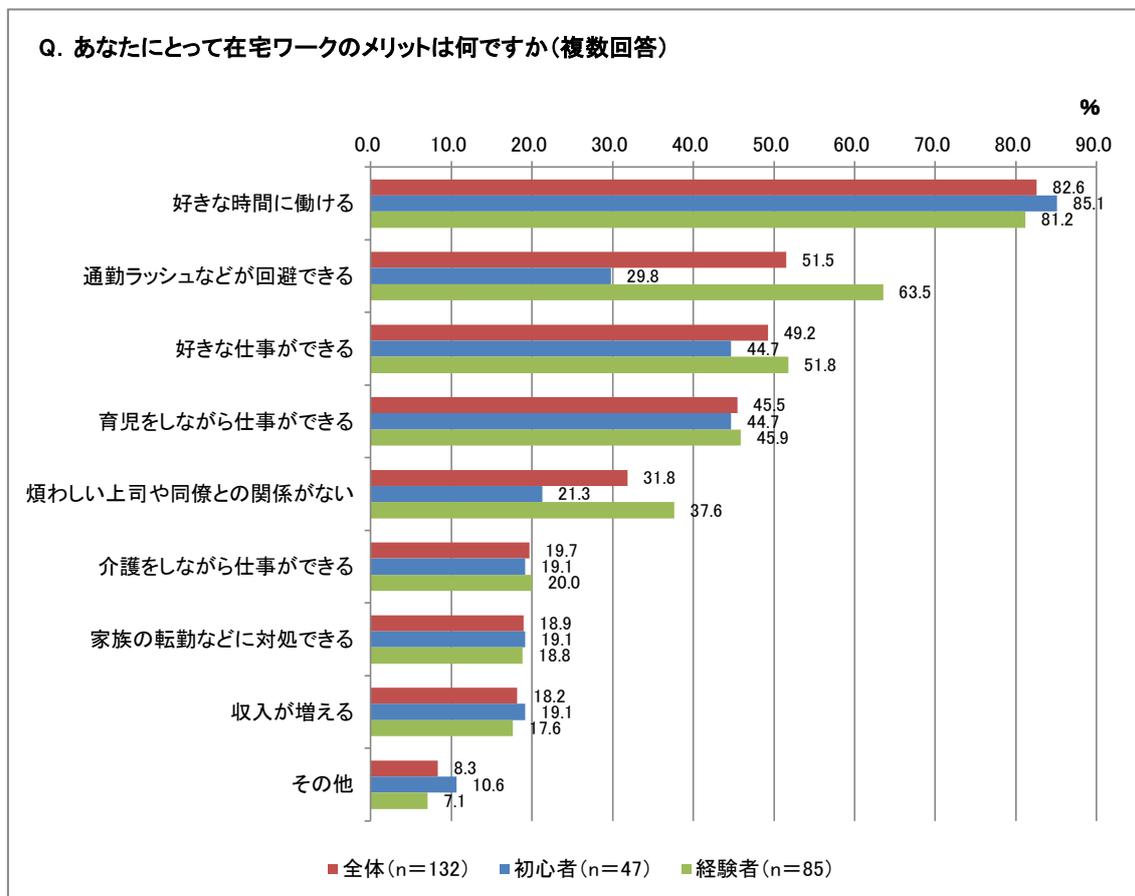


結果の詳細②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

◇在宅ワークのメリット

初心者、経験者とも「好きな時間に働ける」ことが最大のメリット。経験者は「通勤ラッシュ」や「上司、同僚との関係がない」ことにもメリットを強く感じている

在宅ワークのメリットは、全体では「好きな時間に働ける」(82.6%)、「通勤ラッシュなどが回避できる」(51.5%)「好きな仕事ができる」(49.2%)が上位に挙げられています。層別にみると、いずれの層でも「好きな時間に働ける」が最も多く挙げられていますが、経験者は「通勤ラッシュなどが回避できる」(63.5%)、「煩わしい上司や同僚との関係がない」(37.6%)と回答した人が初心者に比べて多くみられます。



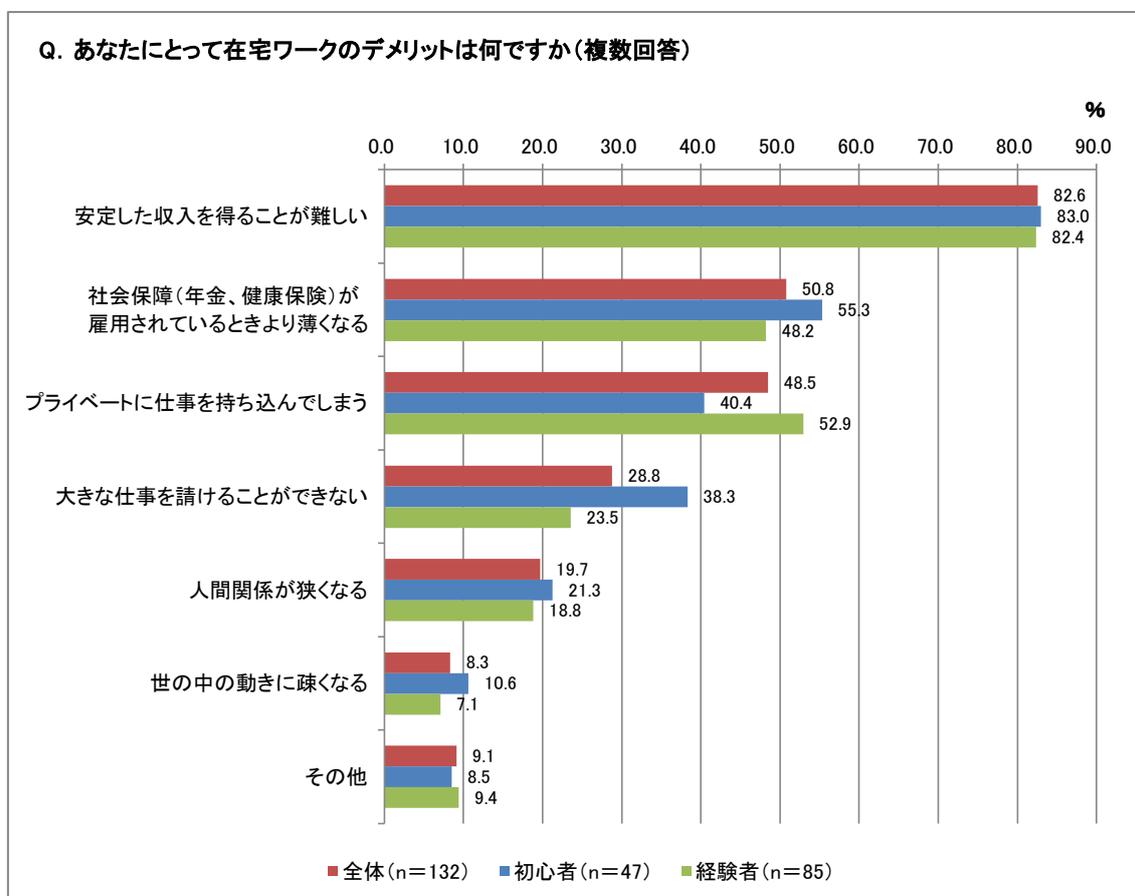
結果の詳細②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

◇在宅ワークのデメリット

初心者、経験者とも「安定した収入を得ることが難しい」がトップ。初心者では「社会保障」、経験者では「プライベートに仕事を持ち込んでしまう」ことにもデメリットを感じる

在宅ワークのデメリットは、全体では「安定した収入を得ることが難しい」(82.6%)、「社会保障が雇用されているときより薄くなる」(50.8%)、「プライベートに仕事を持ち込んでしまう」(48.5%)が上位に挙げられています。

いずれの層も全体と同様の傾向を示していますが、初心者と経験者を比較すると、初心者では「社会保障が薄くなる」(55.3%)、「大きな仕事が請けることができない」(38.3%)、経験者では「プライベートに仕事を持ち込んでしまう」(52.9%)が多く挙げられています。



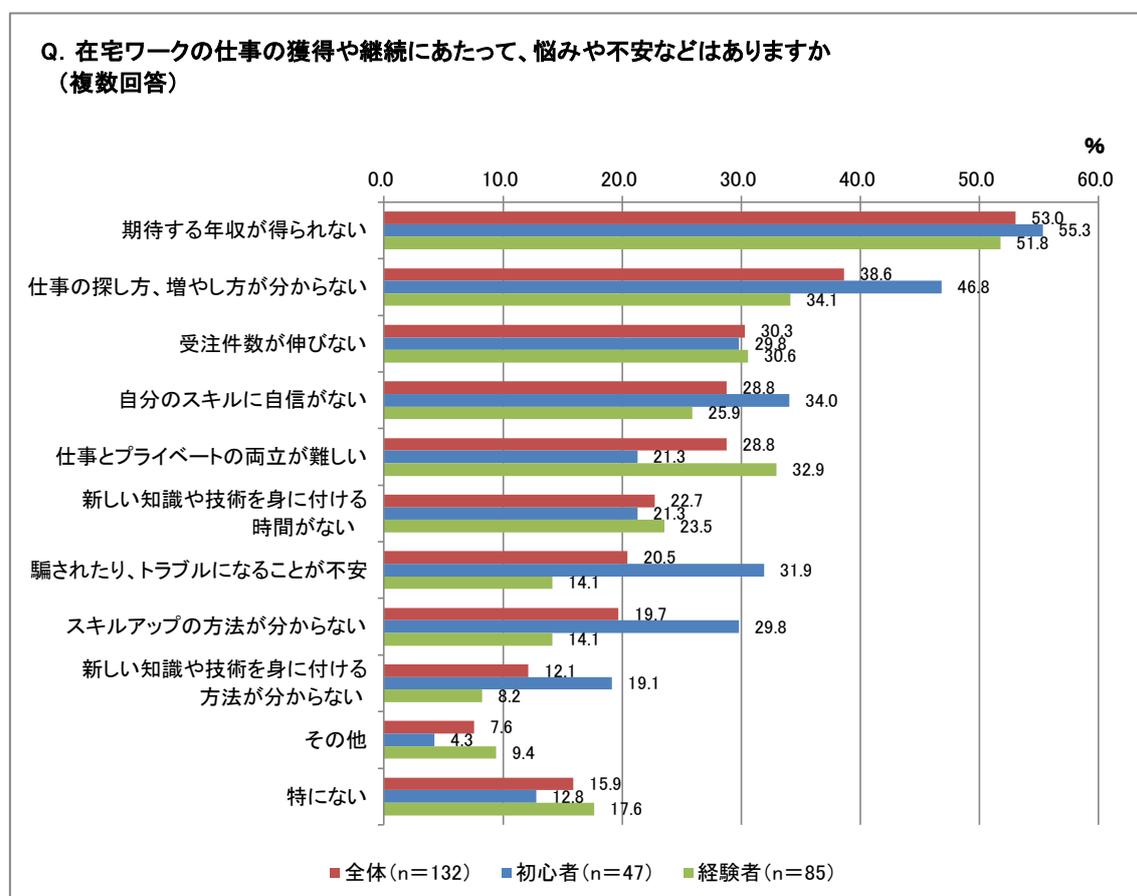
結果の詳細②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

◇在宅ワークの仕事獲得、継続に対する悩み・不安

「期待する年収が得られない」ことが最大の悩み。初心者の悩みや不安は多岐にわたり、経験者は「仕事とプライベートの両立が難しい」と感じている

仕事の獲得、継続に関する悩みや不安は、全体では「期待する年収が得られない」(53.0%)、「仕事の探し方、増やし方が分からない」(38.6%)「受注件数が伸びない」(30.3%)が上位に挙げられています。

いずれの層も「期待する年収が得られない」が多く挙げられていますが、初心者は「仕事の探し方、増やし方が分からない」(48.6%)、「自分のスキルに自信がない」(34.0%)をはじめとして、経験者と比較して多くの悩みや不安を抱えています。これに対して経験者は「仕事とプライベートの両立が難しい」(32.9%)と回答した人が初心者と比べて多くみられました。



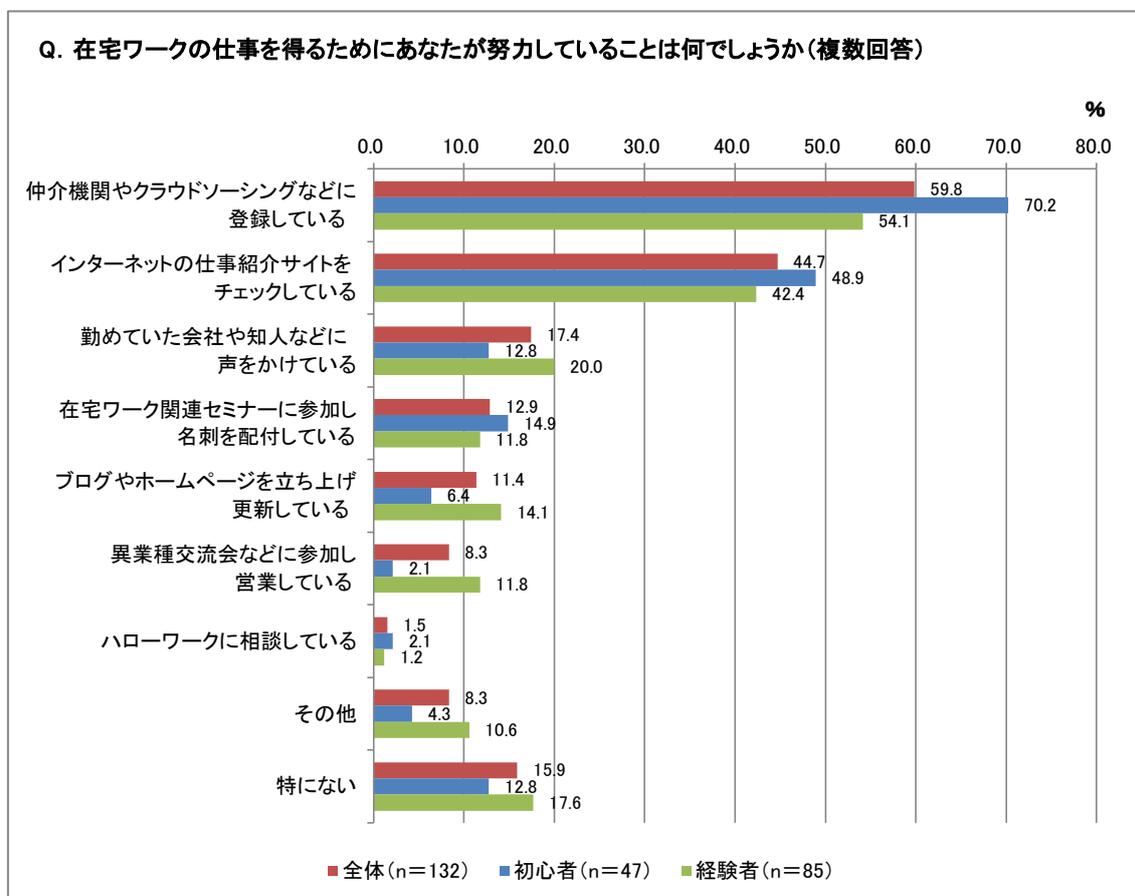
結果の詳細②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

◇仕事を得るために努力していること

初心者、経験者とも「仲介機関やクラウドソーシングなどに登録している」がトップ。経験者はそれ以外にもさまざまな努力をしている

仕事を得るための努力は、全体では「仲介機関やクラウドソーシングなどに登録している」(59.8%)、「インターネットの仕事紹介サイトをチェックしている」(44.7%) が突出して多く挙げられています。

層別にみると、初心者では「仲介機関やクラウドソーシングなどに登録している」(70.2%)、「インターネットの仕事紹介サイトをチェックしている」(48.9%) が経験者と比べて高比率となっています。一方、経験者は「勤めていた会社や知人に声をかけている」(20.0%)、「ブログやホームページを立ち上げ更新している」(14.1%) など、初心者に比べてさまざまな努力をしているようです。



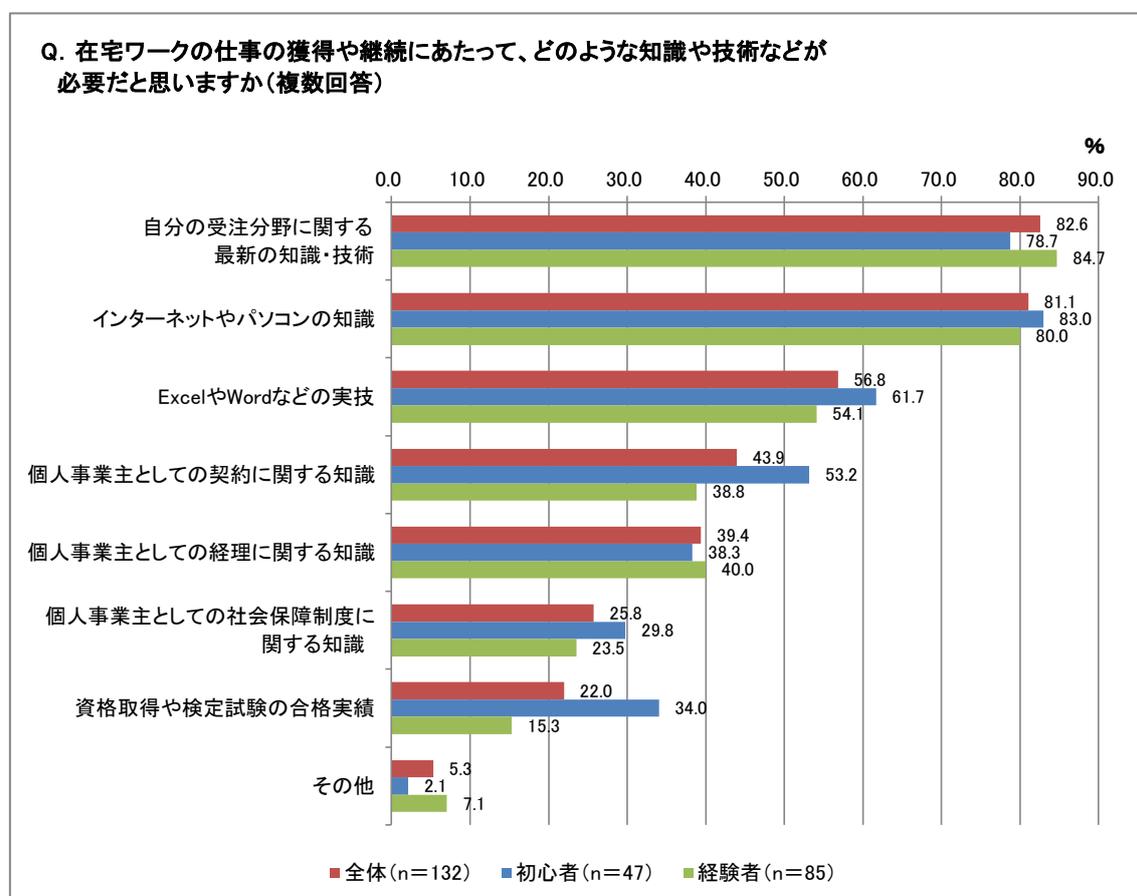
結果の詳細②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

◇仕事の獲得、継続のために必要な知識・技術

初心者、経験者とも「自分の受注分野に関する最新の知識・技術」「インターネットやパソコンの知識」が上位。初心者では「経理に関する知識」「資格取得や検定試験」も必要だと感じている

仕事の獲得や継続のために必要な知識・技術は、全体では「自分の受注分野に関する最新の知識・技術」(82.6%)、「インターネットやパソコンの知識」(81.1%)が上位に挙げられています。

層別にみると、初心者では「ExcelやWordなどの実技」(61.7%)、「契約に関する知識」(53.2%)、「資格取得や検定試験の合格実績」(34.0%)と回答した人の比率が経験者と比べて高くなっています。



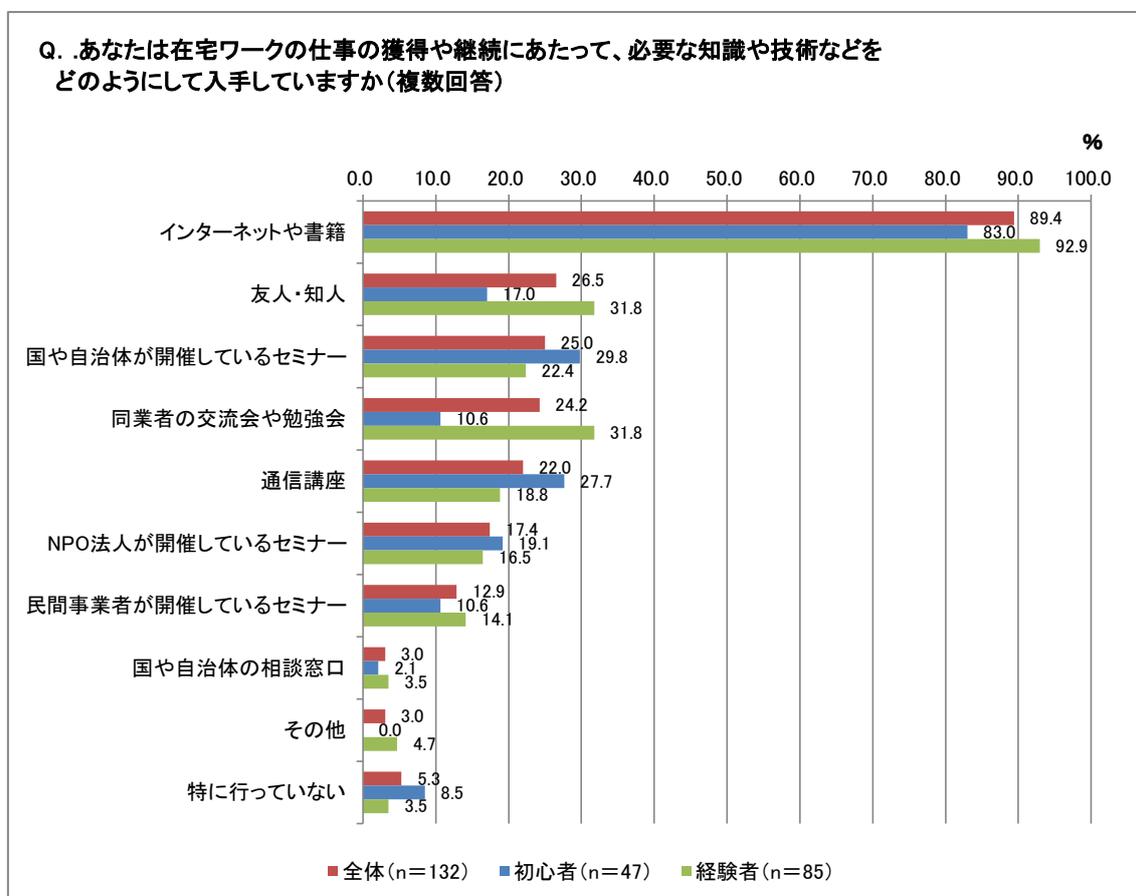
結果の詳細②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

◇仕事の獲得、継続のために必要な知識・技術の入手方法

「インターネットや書籍」がトップ。初心者は「国や自治体開催のセミナー」「通信講座」、経験者は「友人・知人」「同業者の交流会や勉強会」も活用している

仕事のために必要な知識・技術の入手経路は、全体では「インターネットや書籍」(89.4%)が突出して多く挙げられています。

層別にみると、いずれの層でも「インターネットや書籍」が最も多く挙げられています。初心者と経験者を比較すると、初心者では「国や自治体が開催しているセミナー」(29.8%)、「通信講座」(27.7%)、経験者では「友人・知人」(31.8%)、「同業者の交流会や勉強会」(31.8%)の回答比率が高くなっています。



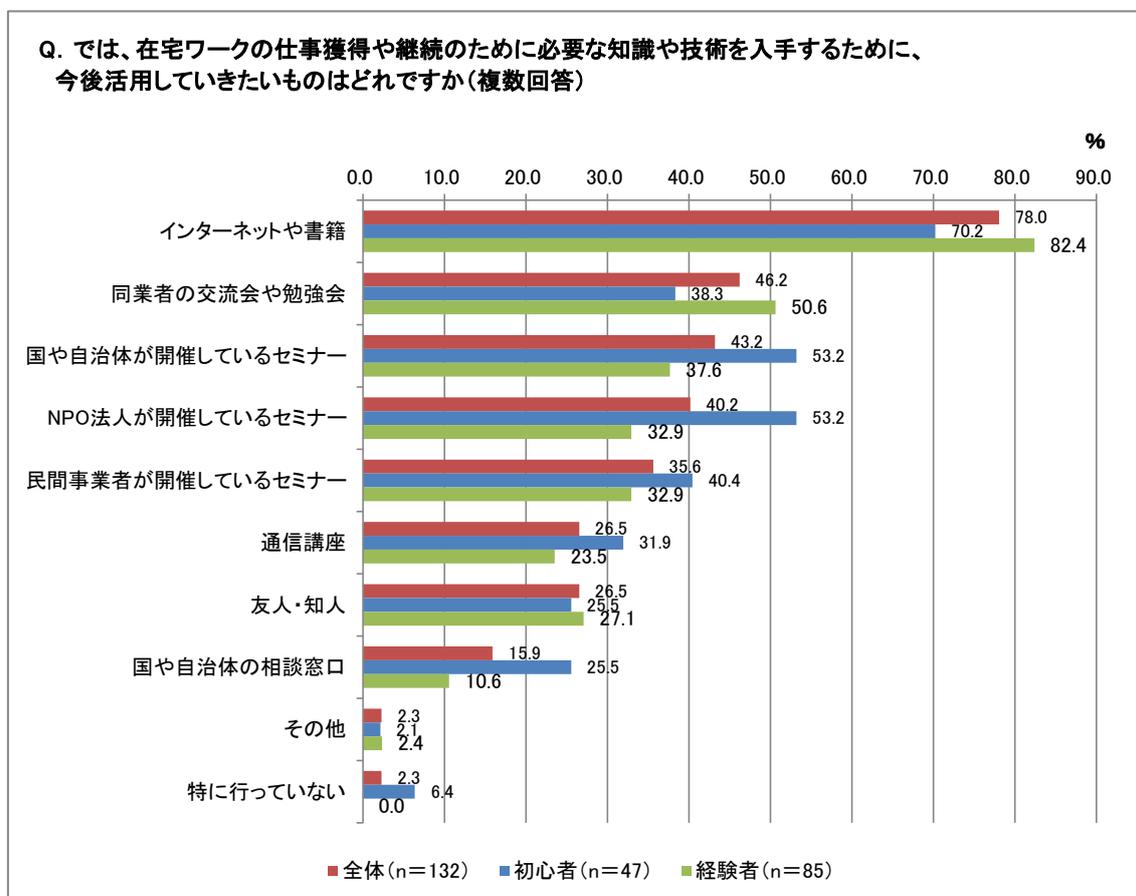
結果の詳細②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

◇知識・技術を入手するために、今後活用したい方法

「インターネットや書籍」がトップ。初心者は「セミナー」「通信講座」など多岐にわたり、経験者は「同業者の交流会や勉強会」の活用意向が高い

知識・技術を入手するため今後活用したい方法は、全体では「インターネットや書籍」(78.0%)、「同業者の交流会や勉強会」(46.2%)、「国や自治体が開催しているセミナー」(43.2%)が上位に挙げられています。

層別にみると、いずれの層でも「インターネットや書籍」が最も多く挙げられています。初心者と経験者を比較すると、初心者は「国や自治体が開催しているセミナー」(53.2%)、「NPO法人が開催しているセミナー」(53.2%)など多くの項目が挙げられ、経験者では「インターネットや書籍」(82.4%)、「同業者の交流会や勉強会」(50.6%)の回答率が高くなっています。



結果の詳細②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

◇求める情報提供や支援サービス（自由記入回答より）

求める情報提供や支援サービスについて多く挙げられたのは「仕事・会社紹介、ビジネスマッチング」「セミナー、講座」「勉強会・交流会、情報交換の場」でした。各分野の回答には次のような特徴がありました。

- 仕事・会社紹介、ビジネスマッチング：初心者からは、安心できる仕事・会社の紹介を望む声、経験者からはクラウドソーシング、ビジネスマッチングに関する要望がみられました
- セミナー、講座：初心者からオンラインのセミナーや講座の要望がみられました
- 勉強会・交流会、情報交換の場：いずれの層でも、ネットワークづくり、在宅ワーカー同士のコミュニケーションの場が求められていました

回答抜粋
仕事・会社紹介、ビジネスマッチング(23)
初心者(11)
<ul style="list-style-type: none"> ・紹介してくれる会社が安心できることを教えてほしい ・各機関の情報や求人総合的なサイト ・どこが安心できる会社なのか、自治体などしっかりと安全を確認したところで紹介してもらえる件数が増えたい ・ハローワークのように公的機関で仕事先を紹介してほしい ・仲介企業や在宅ワーカーを探している企業の案内 ・継続的に請け負えるような情報が在宅ワークの末端にまで届けば、かつ受注できる環境にあればと思う ・安心できる仲介業者を紹介してもらいたい ・マッチングサービス ・トライアル募集の情報が欲しい ・お仕事マッチングの場を提供してもらいたい ・仕事の斡旋
経験者(12)
<ul style="list-style-type: none"> ・都内で全国の在宅ワークをしている会社との面談の場があれば嬉しい ・受注先、発注先の仕事内容、スキルがどうかというより、仕事の姿勢(常識があるかどうか)をふまえてマッチングできるサービス ・専門性の高い、あるいは細分化されたクラウドソーシングのポータルサイト/プラットフォーム 既存のものはごちゃまぜすぎて、そこから探す気がしない ・新規のお仕事を探す際、お仕事内容が具体的に分からず応募を躊躇してしまう。サンプル画像などがあるとありがたい。 ・職種とそれぞれの仕事内容に関する情報提供を希望。自分の技術で可能な仕事を検索できるような提供方法だとよい ・クライアントと直接会える、ビジネスマッチングのサービスがより一般化してほしい ・多くのクラウドソーシングではコンペ形式が非常に多く、多くの業者が制作時間を無駄にしてしまうようなシステムになっています。クライアントに選ばれた制作者が確実に受注できるシステム…自分の業務内容や実績を公開して、クライアントが自由に業者を選択するシステムがあればと思う ・県が在宅ワーカーに仕事をあっせんするサイトを運営していた(県内在住者のみ登録可能、仕事を出す側も県内の事業者)。良質な仕事ばかりだったので、そういうサービスはいいと思う。 ・ハローワークなどで在宅ワークの紹介 ・クラウドワークスのように、ウェブ上で仕事を提供するサイトが増えると良い ・クライアントを紹介してくれるマッチングなどのサービス ・仕事紹介サイトなどからの情報

結果の詳細②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

◇求める情報提供や支援サービス（自由記入回答より）

回答抜粋(続き)
セミナー、講座(17)
初心者(10)
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技術の習得目的ではなく、応用やもっと高度な技術の修得を目的としたセミナーやプロジェクトの開催情報で、詐欺やインチキではない、まっとうな情報。 ・支援セミナーなどを開催してもらうこと ・オンラインでのスキル習得・スキルアップ講座が充実することを望みます。 ・子供連れで参加できるセミナー、インターネット上のセミナー ・仕事を受注しながらスキルアップするための、経費をあまりかけなくてもよいようなシステム ・育児と仕事で、スキルアップのための勉強の時間が取れないので、短期集中や選べる講座で、必要な知識を得られるようなセミナー ・仕事の内容のことだけでなく、経理や簿記が初めての人向けのセミナーの案内 ・webなどを使用した、自宅でも受けられるセミナー(介護や育児をしている方が参加しやすい) ・個人事業主になった場合の経理についてのセミナー ・スキルアップにつながる情報やセミナー ・場所や時間を選ばずに受講可能なオンラインでのスキルアップセミナーなど
経験者(7)
<ul style="list-style-type: none"> ・録音機器・起こしソフト・音声認知ソフトなどの製造・発売企業主催の「最新技術についてのセミナー」 ・セミナーなどを経て、実際の仕事までOJT的にフォローしていただいたり、その後の状況を定期的に電話やメールで聞いてきてくれたりすると、励みになる ・営業力交渉力を身につける手段や講座 ・税金関係のセミナー ・クラウドソーシングの活用術や、専門知識が学べる講座 ・在宅ワークで高収入を得ている方の講演会 ・スキルアップや個人事業主に必要な知識の講習(ネット上のもの、実際の講座など) ・遠隔地に住んでおりますので、ネット上での個人事業主経理セミナーなど
勉強会・交流会、情報交換の場(12)
初心者(5)
<ul style="list-style-type: none"> ・人と触れ合う(会話をして情報交換をする)機会を作りたい ・ワーカー間の情報交換の場 ・情報カフェなどの形態で、仕事や支援などに関する知識を得られる場所。コワーキングスペースや自習室などが併設されていれば、情報交換の場などにもなる。 ・在宅ワーカー同士がつながれる場 ・情報交換や交流の場。
経験者(7)
<ul style="list-style-type: none"> ・同業者の集まりなどがあれば、情報交換のために参加希望 ・SNSの交流だけでなく、交流会やセミナーがあれば積極的に参加したい ・人脈を広げ、情報共有ができる支援サービスがあれば利用したい ・スキルを磨くための交流会やセミナー ・同じ作業をする方たちと知り合える場、アイデアを交換できる場 ・異業種交流や同業種の情報交換、勉強のできる場 ・フリーランスの相互コミュニケーション、クライアントとの出会いの場がもっとあるといい

結果の詳細②在宅ワークに対する意識、情報・支援ニーズ

◇求める情報提供や支援サービス（自由記入回答より）

回答抜粋(続き)
経験談、事例紹介(4)
初心者(1)
・仕事の立ち上げから軌道にのせるまでの経験者の話や事例が聞ける機会。ネット上で情報提供されているとありがたい。
経験者(3)
・働き方のいろいろなパターンを事例で紹介するサイトやメールマガジン、その場合の確定申告はどうしたらいいかなどまで、紹介していただくと参考になる
・新しい在宅ワークを始めた時に、初めはどんな準備をして、どんな仕事からスタートしたのか、経験談や具体的な事例を知りたい
・興味はある職種も、そして現時点で興味がない職種に関しても、自分にもできるのか、具体的な仕事はどんな流れで、どんなものなのか、事例が知れると嬉しい
・同業者で成功している実例
トラブル対策・対応(4)
経験者(4)
・トラブル回避のための知識
・トラブル事例の周知、個人事業主のマイナンバー対策、ITの知識
・悪徳仲介業者などを見分ける術
・未払いなどのトラブルを未然に防ぐ方法、新規のお客さまとの契約の結び方など、法律関係の支援
PC、インターネットの知識・技術(3)
初心者(1)
・PCやネットのトラブル対処、セキュリティの学習
経験者(2)
・IllustratorやPhotoshopなどを使って、仕事レベルのスキルが身につくこと。具体的にはイラストなど。
・パソコンに関するあらゆる知識を、ワンストップで無料で提供してくれるフリーダイヤルの相談所。
報酬(3)
初心者(2)
・金額を上げてもお仕事を受注できるようになるためには、どうしていったらよいか。情報提供が欲しい
・仕事の単価を上げる方法＝自分自身の価値を高める方法と、そのために何をすればいいのを知りたい
経験者(1)
・ライティングの仕事の単価がこれ以上下がらないように何らかの基準等を設けて支援してほしい
情報配信(3)
初心者(1)
・メールによるこまめな情報提供
経験者(2)
・現在の在宅ワークに関する定期的な情報を知る手立てがほしい
・定期的な形での情報取得